

JD

文化振興財団

経営状況説明書

公益財団法人浜松市文化振興財団の
令和7年度決算

目 次

	頁
1 令和7年度事業の報告・・・・・・・・・・・・・・・・	5
2 令和7年度決算の状況・・・・・・・・・・・・・・・・	71

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和 7 年度決算について

公益財団法人浜松市文化振興財団の令和 7 年度決算を地方自治法第 243 条の 3 第 2 項の規定に基づき次のとおり報告する。

浜松市長 中 野 祐 介

令和 7 年 度

事 業 の 報 告

1 概況

(1) 芸術文化振興への主な取り組み

ア 芸術文化公演の企画運営について

令和 7 年度は、第 12 回浜松国際ピアノコンクール入賞者をはじめとするコンクール関係の演奏家を積極的に起用しました。また、浜松ゆかりのアーティストや今後の活躍が期待される若手音楽家に焦点を当てたオリジナル企画にも取り組み、市内外からの来場者層の拡大に努めました。今後においても、当財団が蓄積してきた人材やネットワークを活用し、浜松ならではの事業の発信に取り組めます。

イ 芸術文化活動等の支援について

市民主体の文化活動の一層の活性化を図るため、浜松市民文化フェスティバル等の事業を通じて活動者同士のつながりの促進や、活動者の主体的な課題解決に向けた支援に取り組みました。

浜松アーツ&クリエイション事業では、クリエイターらが人や他分野と出会う場と機会を創出するとともに、次の活動へとつながる基盤づくりを進めました。

今後においても、単発的な支援にとどまらず、関係性やプロセスを含めた継続的な活動環境の醸成と支援を図ります。

ウ 浜松市とともに推進する共催・負担金事業等について

令和 7 年度は、第 12 回浜松国際ピアノコンクール優勝者ツアーを全 26 公演開催し、入賞者の躍進につなげるとともに、国内外にコンクールの事業成果を発信しました。

また、第 13 回コンクール開催に向けて実行委員会等を立ち上げ、実施要項の作成等に着手しました。

そのほか、アクトシティ音楽院をはじめとする次代の芸術文化の担い手の育成事業においては、30 年を超える長期的な取り組みの結果、輩出された多くの人材が現在、国内外で活躍し、浜松市の各種事業においても様々な役割を担っています。これらの人材が有する浜松への愛着や貢献への思いを貴重な資産と捉え、浜松市の未来につなげます。

(2) 所管施設の運営について

ア 指定管理施設の運営について

令和 7 年度は、9 施設の指定管理を受託し、指定管理者協定に基づく適切な管理運営を実施しました。

いずれの施設においても、物価上昇等の影響を踏まえ、経費の見直しを日常的に行い、効率的な運営に取り組みました。

また、アクトシティ浜松においては、改修工事の開始に伴い、利用者への情報提供や動線確保などに配慮し、安全性と利便性の確保を図りました。

浜松市浜北文化センターについては、15 か月の改修休館を経て令和 7 年 7 月に再開したことから、向上した施設機能と利便性を活かした運営と周知に努めました。

今後においても、各施設に求められる機能や役割を十分に認識し、安定的かつ効果的な運営に努めます。

イ 施設の利用促進について

施設の利用促進を図るため、社会や地域の情勢変化を踏まえ、利用者との信頼関係の構築やアンケートの活用を通じてニーズの把握に努め、利用満足度の向上と利用の確保・拡大につなげました。

また、アクトシティ浜松においては、公益財団法人浜松・浜名湖ツーリズムビューローと連携し、施設改修後を見据えた大型コンベンションの誘致に取り組みました。

今後においても、各施設の特性を活かし、利用機会の拡大と利用満足度の向上を図ります。

(3) 法人の自律的ガバナンスに関する取り組み等について

令和 7 年度は、浜松市のパートナーとして、公益目的事業を継続的に実施するため、社会環境の変化を踏まえた経営努力を重ね、安定的な法人経営の維持に努めました。

また、当財団の信頼性の向上と職場環境の整備を図るため、これまでも実施してきたコンプライアンスの徹底について、全職員を対象に取り組みました。前年度に引き続き、「コンプライアンスと公益通報等窓口について」の周知徹底、個人情報保護研修やハラスメント研修等を実施し、組織としてのリスク管理と規範意識の向上を図りました。

あわせて、令和 7 年 4 月に公益法人制度が改正されたことに伴い、外部理事及び監事の認定基準に適合しているかの確認や、公益充実資金等取扱規程の制定等の対応を行うとともに、新公益法人会計基準の適用に向けた準備を進めました。加えて、内部統制の機能強化に向けて、現金を扱う各部署において、経営企画課による現金管理調査を継続して実施し、必要な改善対応を進めました。

また、従来から実施している主催事業の自己評価及び分析について、事業ごとに設定した指標に基づき、事業効果の検証と改善に取り組んだほか、「浜松市外郭団体評価書」を用いて事業や法人の運営状況及び財務状況を適切に浜松市に報告・公表する等、透明性の確保に努めました。

そのほか、組織力の向上及び業務改善の推進に向け、職員から業務改善提案を募集し、日常業務における課題の共有と改善意識の向上に取り組みました。

今後においても、公益法人として、適正かつ透明性の高い法人運営に努めるとともに、社会環境の変化に対応した持続的な事業運営を推進していきます。

2 経営成績

(1) 経営の推移

経常収益は、前年度比 97.8%の 2,474,832 千円となりました。このうち事業収益は、浜北文化センターのリニューアルオープンにより利用料金収益が前年度比 50,890 千円の増となったものの、前年度浜松国際ピアノコンクールの開催により増額となった協賛金・共催事業収益等が減となったため、事業収益全体では前年度比 22,829 千円の減となりました。受取負担金は、浜松市との共催事業に対する浜松市からの負担金で、浜松国際ピアノコンクール開催年の前年度との比較では 114,480 千円の減となっています。

経常費用は、前年度比 97.2%の 2,425,828 千円となりました。物価上昇の影響が継続する厳しい状況となりましたが、管理経費の見直しを日常的に行うなど、効率化を意識した運営に努めました。

これらにより、当期経常増減額は 49,004 千円となりました。

指定正味財産の内訳は、浜松市文化協会の解散に伴い受け入れた残余財産を積み立てた事業基金と、一般からの寄付で受け入れた仲道子供音楽事業資産およびオークラ助成事業資産です。当年度は寄付金の受け入れと、仲道子供音楽事業資産とオークラ助成事業資産の取り崩しにより、前年度比 1,701 千円の減となりました。

この結果、当期の正味財産期末残高は、前年度比 47,136 千円増の 3,495,136 千円を計上しました。

比較正味財産増減計算書

(単位:千円)

科目	R7 年度	R6 年度	R5 年度	対前年度比	
				R7/R6	R6/R5
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	9,394	7,337	5,083	128.0%	144.3%
特定資産運用益	4,776	1,593	1,547	299.8%	103.0%
事業収益	903,301	926,130	899,842	97.5%	102.9%
受取指定管理料等	1,296,280	1,288,817	1,324,704	100.6%	97.3%
受取受託金	175,593	112,502	107,039	156.1%	105.1%
受取補助金等	13,375	10,680	36,737	125.2%	29.1%
受取負担金	65,298	179,778	70,297	36.3%	255.7%
受取寄付金	3,462	2,880	1,840	120.2%	156.5%
雑収益	3,353	2,073	1,724	161.7%	120.2%
経常収益計	2,474,832	2,531,790	2,448,813	97.8%	103.4%
(2) 経常費用					
事業費	2,330,930	2,407,830	2,312,633	96.8%	104.1%
管理費	94,898	88,829	90,386	106.8%	98.3%
経常費用計	2,425,828	2,496,659	2,403,019	97.2%	103.9%
当期経常増減額	49,004	35,131	45,794	139.5%	76.7%
2 経常外増減の部					
(1) 経常外収益	0	0	8,367	-	-
(2) 経常外費用	0	0	0	-	-
当期経常外増減額	0	0	8,367	-	-
税引前当期一般正味財産増減額	49,004	35,131	54,161	139.5%	64.9%
法人税及び住民税	167	180	346	92.8%	52.0%
還付法人税等	0	0	0	-	-
当期一般正味財産増減額	48,837	34,951	53,815	139.7%	64.9%
一般正味財産期首残高	3,256,901	3,221,950	3,168,135	101.1%	101.7%

(単位:千円)

科目	R7 年度	R6 年度	R5 年度	対前年度比	
				R7/R6	R6/R5
一般正味財産期末残高	3,305,738	3,256,901	3,221,950	101.5%	101.1%
Ⅱ 指定正味財産増減の部					
特定資産運用益	480	4	4	12,000.0%	100.0%
受取寄付金	600	750	0	80.0%	-
一般正味財産への振替額	△ 2,781	△ 1,349	△ 1,744	206.2%	77.4%
当期指定正味財産増減額	△ 1,701	△ 595	△ 1,740	-	-
指定正味財産期首残高	191,099	191,694	193,434	99.7%	99.1%
指定正味財産期末残高	189,398	191,099	191,694	99.1%	99.7%
Ⅲ 正味財産期末残高	3,495,136	3,448,000	3,413,644	101.4%	101.0%

(2) 財政状況

資産の部の流動資産 754,127 千円の内訳は、現金預金等 590,704 千円、未収金 152,857 千円、未収利息 2,850 千円、棚卸資産 5,715 千円などとなっています。未収金は指定管理料収入や施設利用料金収入等であり、最終的には、2 か月程度で全額回収予定です。

固定資産 3,485,814 千円の内訳は、基本財産が 2,139,769 千円、特定資産（退職給付引当資産、事業基金、広域文化基金、公益充実資金、仲道子供音楽事業資産など計 7 資産）1,321,404 千円、その他の固定資産（什器備品、リース資産等）24,641 千円です。

負債の部の流動負債 379,687 千円の内訳は、未払金 201,751 千円、前受金 93,183 千円、賞与引当金等 32,476 千円、預り金 40,049 千円、リース債務 12,228 千円となっています。引当金とリース債務以外については、年度末事業経費や 3 月分光熱水費等の未払金、翌年度の施設利用料や翌年度公演事業のチケット収入等の前受金、国税等の預り金などです。

固定負債 365,118 千円の内訳は、退職給付引当金 353,076 千円とリース債務 12,042 千円です。退職給付引当金は 100%の積立を行っています。

比較貸借対照表

(単位:千円)

科目		R7 年度末		R6 年度末		増減額 (A)-(B)	対前年度比 (A)/(B)
		金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
資 産	流動資産	754,127	17.8%	703,517	17.1%	50,610	107.2%
	固定資産	3,485,814	82.2%	3,401,387	82.9%	84,427	102.5%
資産計 ①		4,239,941	100.0%	4,104,904	100.0%	135,037	103.3%
負 債	流動負債	379,687	51.0%	311,606	47.4%	68,081	121.8%
	固定負債	365,118	49.0%	345,298	52.6%	19,820	105.7%
負債計 ②		744,805	100.0%	656,904	100.0%	87,901	113.4%
正 味 財 産	指定正味財産	189,398	5.4%	191,099	5.5%	△ 1,701	99.1%
	(うち特定資産への充当額)	189,398	5.4%	191,099	5.5%	△ 1,701	99.1%
	一般正味財産	3,305,738	94.6%	3,256,901	94.5%	48,837	101.5%
	(うち基本財産への充当額)	2,139,769	61.2%	2,139,769	62.1%	0	100.0%
	(うち特定資産への充当額)	778,930	22.3%	712,563	20.7%	66,367	109.3%
正味財産計 ①-②		3,495,136	100.0%	3,448,000	100.0%	47,136	101.4%

3 課題への対応状況と今後の方針

当財団は、文化芸術の力を生かし、浜松市総合計画及び文化振興ビジョンの実現に向けた役割を担っています。その役割を果たすため、社会環境の変化を踏まえた経営努力を重ね、安定的かつ持続可能な法人運営を維持し、公益目的事業を継続的に展開していくことが重要と認識しています。

物価高騰など厳しい経営環境が続く中、収入の確保に向けた創意工夫と、効率性を意識した業務改善・経費の適正な執行を進め、安定的な法人運営に努めていきます。

(1) 効率的な法人運営の推進について

物価やエネルギー価格の高止まりなど、法人運営を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあります。このような状況においても、業務の効率化や経費の適正な執行を徹底するとともに、業務改善や運営手法の見直しを継続し、安定的かつ持続可能な法人運営を推進していきます。

(2) 専門人材の確保・育成について

文化芸術事業を担う財団として、専門性に加え、多様な主体との連携・協働を推進できる人材の確保・育成は、法人運営の基盤となる重要な課題です。民間企業との給与水準には差があるものの、当財団で働く意義や魅力を積極的に発信することで、理念や役割に共感する応募者を確保し、計画的な採用を継続しています。

今後も、人材育成や職場環境の充実を図りながら、専門性と実践力を備えた人材の確保・育成に取り組み、将来にわたり安定した事業運営を支える組織づくりを進めます。

4 令和7年度 事業活動報告

(1) 芸術文化公演（鑑賞型）の企画、運営及び提供

事業総括

令和7年度は、浜松出身の仲道郁代や浜松国際ピアノコンクールに関連するアーティスト等、浜松にゆかりのある音楽家を起用した演奏会を多数開催しました。また、継続して実施している若手演奏家や世界的演奏家によるシリーズ企画に加え、新たな取り組みとして平日午後に開催する「アフタヌーン・コンサート」を企画・実施しました。

・アクト・ニューアーティスト・シリーズ

今後の活躍が期待される若手演奏家を紹介する好評のシリーズ企画として、令和7年度は話題の若手チェリスト西田翔、フルート界の新星・堀内心優彩の2公演に加え、中ホールにおいて開催した第150回特別版では、第12回浜松国際ピアノコンクールで日本人初優勝を果たした鈴木愛美が出演し、好評を博しました。

・アクト・プレミアム・シリーズ

世界トップレベルの演奏家を浜松に迎える独自企画として、令和7年度はアレッシオ・バックス、ジャン・チャクムルの2名の浜松国際ピアノコンクール優勝者が出演したほか、第12回コンクールで審査委員も務めた世界的ピアニストのペーテル・ヤブロンスキー、フルートの貴公子セバスチャン・ジャコーと吉野直子によるデュオなど、計4公演を実施しました。

・浜松ゆかりの演奏家による公演

浜松ゆかりの芸術家・仲道郁代のリサイタル・シリーズのほか、第10回コンクール入賞者である今田篤・梅田智也と海外オーケストラとの共演、同じく第10回入賞者であるイ・ヒョクと実弟ヒョの2台ピアノ企画など、浜松市が誇る音楽家を招聘した演奏会を企画しました。

・新たな取り組み

平日昼間の時間帯に音楽を楽しむ機会を提供する「アフタヌーン・コンサート」や、パイプオルガンの新たな活用として、オルガンの荘厳な響きとミュージカル楽曲を融合した「オルガン×ミュージカル・コンサート」を企画・実施しました。

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
アクト・ニューアーティスト・シリーズ（クラシック界注目の若手演奏家によるアクトシティ独自のシリーズ企画）				
No.148 西田翔(チェロ)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	5/25	183	第75回全日本学生音楽コンクール1位、第45回霧島国際音楽祭受賞など数々のコンクールで賞を獲得してきた、話題の若手チェリスト。
No.149 堀内心優彩(フルート)	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	6/29	192	2023年第26回びわ湖国際フルートコンクールジュニア部門第1位など、数々のコンクールで飛び級や最年少優勝を重ねるフルートの新星。
No.150 特別版 鈴木愛美(ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	1/12	888	シリーズ150回特別版として中ホールで開催。第12回浜松国際ピアノコンクールで日本人初優勝を飾った鈴木愛美が登場。

事業名		会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
アクト・プレミアム・シリーズ (一流演奏家によるコンサートシリーズ。コンサートホールである中ホールで開催するプレミアムなコンサートを展開)					
	Vol.39 檜本大進 &アレッシオ・ボックス (ヴァイオリン&ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	6/9	716	ベルリン・フィル第1コンサートマスターとして楽団の最前線で活躍する檜本と、第3回浜松国際ピアノコンクール第1位のボックスによる至高の共演。
	Vol.40 ジャン・チャクムル (ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	9/28	614	第10回浜松国際ピアノコンクール優勝、欧州を中心に世界中で活躍中のピアニスト。
	Vol.41 セバスチャン・ジャコー &吉野直子 (フルート&ハーブ)	アクトシティ浜松 中ホール	10/16	336	世界が注目する“フルートの貴公子”ジャコーと、“ハーブの女王”吉野直子による夢のデュオ。
	Vol.42 ペーテル・ヤブロンスキー (ピアノ)	アクトシティ浜松 中ホール	3/18	377	第12回浜松国際ピアノコンクール審査委員を務めた五大陸を股にかけて活躍する円熟のピアニスト。
The Road to 2027プロジェクトin 浜松 仲道郁代ピアノ・リサイタル					
	Vol.11 「高雅な踊り」	アクトシティ浜松 中ホール	5/10	541	浜松出身の日本を代表するピアニスト、仲道郁代が自身の演奏活動40周年となる2027年に向けて取り組むリサイタル・シリーズ。
	Vol.12 「ラヴェルの狂気」	アクトシティ浜松 中ホール	10/19	421	
富士山静岡交響楽団 定期演奏会 浜松公演					
	第 130 回	アクトシティ浜松 中ホール	5/25	302	指揮:高関健 ヴァイオリン:松田理奈
	第 131 回		6/22	423	指揮:原田慶太楼 ヴィオラ:川本嘉子
	第 133 回		9/14	380	指揮:高関健
	第 134 回		11/16	450	指揮:ユベール・スダーン ピアノ:田村響
	第 135 回		2/23	810	指揮:高関健 ピアノ:鈴木愛美
ディズニー・オン・クラシック ～夢とまほうの贈りもの 2025		アクトシティ浜松 大ホール	6/29	2,087	ディズニー音楽を、物語を紡ぐ映像とともに、日本人ヴォーカリストとオーケストラの生演奏でお贈りする音楽体験。 共催:K-MIX、Daiichi-TV
マリア・ジョアン・ピリス ピアノ・リサイタル 【出演者体調不良のため公演中止】		アクトシティ浜松 中ホール	7/25★	—	ポルトガルが生んだ現代最高の実力派ピアニスト。 共催:ミュージックプラント
第 19 回浜松いわた信用金庫 「夢に追いかぜコンサート in 浜松」 ～浜松国際ピアノコンクール 優勝者と巡ろう世界の名曲の旅～		アクトシティ浜松 中ホール	7/27	922	毎年恒例のファミリーを対象としたクラシックコンサート。第 12 回浜松国際ピアノコンクール優勝者鈴木愛美が出演。 共催:浜松いわた信用金庫、(公財)浜松交響楽団、浜松市

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
マリン・オルソップ指揮 ポーランド国立放送交響楽団 with 角野隼斗	アクティシティ浜松 大ホール	9/22	2,259	東欧の名門オーケストラと話題の世界的ピアニストが邂逅。指揮者は名だたる楽団を歴任してきたオルソップ。
アンナ・ドゥチマル＝ムローズ指揮 アマデウス室内オーケストラ with 今田篤&梅田智也	アクティシティ浜松 中ホール	9/29	401	アルゲリッチ、マイスキー、レーピン等からも評価を得ているポーランドの室内オケと、浜コン入賞者たちによる協演。
加藤登紀子 60th Anniversary Concert 2025	アクティシティ浜松 中ホール	11/1	950	歌手活動60周年を迎える加藤登紀子が、多くの人々の心に残る名曲をお贈りするコンサート。 共催: 静岡朝日テレビ
ジブリの思い出がいっぱい ～オーケストラによる ドリームコンサート～	アクティシティ浜松 中ホール	11/15	515	心に響くジブリの思い出の名曲をオーケストラとともに、ザ ブリーズアドベンチャーズの歌声でお届けした。 主催: サモンプロモーション
ウクライナ国立バレエ 「ジゼル」	アクティシティ浜松 大ホール	12/14	1,450	中世ドイツを舞台に、村娘ジゼルの悲恋と精霊となって恋人を守り抜くロマンティック・バレエの傑作。 主催: 光藍社
イ・ヒョク&ヒョ 2台ピアノで贈る第九	アクティシティ浜松 中ホール	12/16	719	ロン＝ティボー、パデレフスキ他で優勝、第10回浜松国際ピアノコンクールでは第3位入賞したヒョクと2025年ロン＝ティボーで第3位に入賞した実弟ヒョによる“兄弟の第九”。 共催: ますの会
手寫葵 Concert 2025	アクティシティ浜松 中ホール	12/21	930	聴き手の心を揺さぶる類稀なる歌声で数々の主題歌やCMソングを手掛ける手寫葵のコンサート。
ディズニー・オン・クラシック ～まほうの夜の音楽会 2025	アクティシティ浜松 大ホール	12/27	2,161	ディズニーの輝く名曲の数々を、オーケストラとヴォーカリストの生演奏でお贈りする大人のための音楽会。 共催: K-MIX、Daïichi-TV
パイプオルガン×ミュージカル・ コンサート 2026	アクティシティ浜松 中ホール	2/8	817	パイプオルガンの荘厳な響きとミュージカル・スターのパワフルな歌声が融合した公演。
アフタヌーン・コンサート 2026 上野星矢(フルート)× 谷 昂登(ピアノ)	アクティシティ浜松 中ホール	3/4	370	フルート界の俊英、上野星矢とピアノ界の新鋭 谷昂登が贈る極上のデュオ。 これまで実施してこなかった平日午後の公演として実施。
合 計		26事業 ★	20,214	

※大ホール中規模利用 ★中止事業を除く

(2) 芸術文化事業の調査、情報収集及び情報提供

事業総括

令和7年度のアクトシティ浜松友の会運営事業では、昨年に引き続き会員サービスの拡充に取り組みました。

文化事業の広報活動においては、X や Instagram などの SNS を積極的に活用した情報発信に加え、紙媒体によるインタビュー記事の発行、ポスティングによる年間ラインナップの配布、新聞広告の掲載、FM 放送番組への職員出演など多様な媒体を活用し、事業の魅力発信に努めました。

・アクトシティ浜松友の会限定リハーサル見学

公演本番前に実施されるリハーサルの見学会を実施しました。参加対象は、友の会会員であり、かつ当該公演のチケット購入者とし、会員向けサービスの充実を図りました。

・お帰りきっぷサービス

令和6年度に実施した友の会会員向け30周年記念企画「お帰りきっぷサービス」が好評であったことを受け、令和7年度も継続して実施しました。昼公演での利用が多い傾向を踏まえ、今後は周知を強化し、さらなる利用促進を図ります。

・広報活動の強化

令和6年度より導入しているメディアプラットフォーム note を活用した広報を実施しました。紙媒体で発行しているインタビュー記事を写真や記事を再編集して掲載し、文化芸術事業の魅力をより多くの方に発信できるよう努めました。

ア アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」の運営

(ア) 友の会会員数

() 内は前年度実績

内 訳		人 数 (人)	
全会員数 (令和8年3月31日現在)		5,016	(5,398)
内、令和7年度新規入会者		510	(933)
	オンライン入会	413	(785)
	窓口入会	97	(148)

(イ) 実施事業

あ 財団主催事業や受託公演の情報提供として、毎月会員へダイレクトメールを送付

い 財団主催事業や受託公演のチケット販売 (チケット代金の10%を会員割引)

・オンラインショップもしくは電話による予約販売

う 会員へのサービス提供

・浜松市楽器博物館入館料の割引

・浜松市秋野不矩美術館入館料の割引

・オークラアクトシティホテル浜松及びアクトプラザ店舗の利用サービス

・会員限定イベントの実施 (リハーサル見学)

事 業 名	会 場	開催日	応募	入場者数(人)
アマデウス室内オーケストラ with 今田篤&梅田智也	中ホール	9/29	25	16

・遠州鉄道と連携したお帰りきっぷの発行

イ 広報活動

活 動 名	内 容
財団公式ホームページサイト 管理運営	https://www.hcf.or.jp/ 企画事業及び財団所管施設の紹介のほか、法人としての最新情報やお知らせを発信。
SNS による情報発信	YouTube や SNS (Facebook、X、Instagram、note) を活用した広報活動を展開。
Interview Note の発行	・財団主催事業出演者へのインタビューを掲載 ・年 3 回発行、発行部数 10,000 部 ・公益財団法人浜松市文化振興財団 note にも掲載
財団事業活動報告書及び 活動紹介映像の制作	令和 6 年度事業活動報告書の発行・配布のほか、活動紹介映像を制作および Web 上で公開。
事業の広報	事業のチラシ・ポスター等の製作、配布及び各種広告・広報媒体へ情報を掲出。インターネットによる検索連動型広告やディスプレイ広告による広報活動。
デジタルサイネージの活用	アクトシティ内財団事務室、市民ロビー他での映像による事業広報。

ウ HCF オンラインショップの運営

オンラインによるチケット販売（委託販売を含む）及び財団作成 CD・DVD・書籍・記念商品等の販売

【取扱商品】

- ・市内文化団体自主イベント、市内外施設公演及び財団主催公演のチケット
- ・浜松国際ピアノコンクール関連製品（CD）
- ・バンド維新等の財団主催事業の関連製品（CD、スコア集、パート譜）
- ・浜松市楽器博物館製作の CD・DVD コレクション

ただし、グッズ販売は令和 7 年 4 月 30 日をもって終了。（販売元サイトで取扱中）

エ アクトシティ浜松 インフォメーション・チケットセンターの運営

- ・アクトシティ施設案内、公演情報の提供
- ・財団のチケット販売専用端末の設置及びチケットの販売（主催公演及び一般からの受託公演）
- ・アクトシティ友の会会員のチケット販売及び引換

【参照】 チケット及びグッズ等の取扱いの実績

(ア) チケット及びグッズ取扱の実績

() 内は前年度実績

		注文件数 (件)	販売枚数 (枚)	販売金額 (円)	取扱公演数 (件)
一般販売	店 頭	6,713 (7,291)	12,906 (14,040)	41,057,550 (42,914,670)	210 (296)
	オンライン	5,016 (5,388)	8,732 (10,578)	43,289,450 (44,161,200)	
	合 計	11,729 (12,679)	21,638 (24,618)	84,347,000 (87,075,870)	
友の会販売	電 話	2,684 (2,490)	3,875 (4,338)	27,978,260 (29,002,650)	106 (111)
	店 頭	796 (873)	1,359 (1,706)	5,698,340 (5,451,710)	
	オンライン	6,227 (6,779)	10,261 (13,439)	66,029,050 (80,286,850)	
	合 計	9,707 (10,142)	15,495 (19,483)	99,705,650 (114,741,210)	
合 計		21,436 (22,821)	37,133 (44,101)	184,052,650 (201,817,080)	316 (407)
内キャンセル公演分		263 (0)	343 (0)	3,017,700 (0)	1 (0)

(イ) グッズ（書籍・CD など）販売

() 内は前年度実績

	注文件数 (件)	販売金額 (円)
グッズ販売 (店頭・オンライン)	5 (58)	4,200 (459,794)

※財団の店頭・オンラインショップでのグッズ販売は令和7年4月30日終了。(各制作元の販売サイトで取扱中)

(3) 芸術文化活動の支援及び交流の促進

事業総括

市民が主体的に関わり創造する活動のさらなる活性化を図るため、市民参加・協働事業の実施や中間支援に取り組みました。

例年開催している市内文化団体が自ら企画・出演する「浜松市民文化フェスティバル」や「浜松市芸術祭 演劇・人形劇部門」のほか、著名作曲家が学生を直接指導する「バンド維新」事業などを実施し、幅広い層の文化活動と人材育成に取り組みました。

また、浜松アーツ&クリエイション事業では、クリエイター、地域、企業をつなぎ、持続性ある創造活動の支援拡充に努めました。

・浜松市民文化フェスティバル 2025

市民の日頃の文化活動の成果発表及び交流促進を目的に、地域文化団体等に参加を募りました。その結果、11部門にわたる多様なジャンルの団体や学校が参加しました。

・第33回ハママツ・ジャズ・ウィーク

参加年齢層の拡大を図るため、令和7年度は前年度に実施した子どもの楽器体験ワークショップを拡大し、親子で参加できる楽器体験や、ジャズ演奏を体験できる参加型コンサートを実施しました。

・浜松アーツ&クリエイション事業

令和7年度は、活動者同士の交流機会の創出や、「はままつアートでつながるプロジェクト」をはじめとするアートと産業・地域・企業をつなぐクリエイティブイベントを通じて、パイロット的な支援活動を展開しました。さらに、「浜松市創造都市推進事業補助金」の運営に加え、活動実態調査の実施や、プロジェクトに対する助言・伴走支援を行いました。

ア 文化振興事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内容
JAPAN BAND CLINIC Presents スペシャルコンサート	アクトシティ浜松	5/17	1,705	第55回日本吹奏楽指導者クリニックの代替事業として、著名なソリストやバンドを招聘し1日限りのスペシャルコンサートを開催。その他4つの講座や、楽譜CD等の展示販売、楽器展示なども行った。 共催：日本バンドクリニック委員会、全日本小学校管楽器教育研究会、(株)ヤマハミュージックジャパン
浜松市民文化フェスティバル 2025 (11部門)				
展示部門 「絵・写・書・茶・花」展※	クリエート浜松	8/22～24	—	市民文化団体による音楽・舞踊公演及び作品発表。多彩なジャンルの団体が日頃の研鑽の成果を発表した。 (※クリエート浜松が主管)
民踊と舞踊の集い	アクトシティ浜松 大ホール	9/13	500	
第25回浜松おどり	アクトシティ浜松 大ホール	9/15	400	
第22回邦楽演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/15	982	
第18回吹奏楽 トップコンサート	アクトシティ浜松 大ホール	9/21	2,230	
浜松市民合唱祭 2025	アクトシティ浜松 中ホール	10/12	900	

事業名		会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
	バレエ・ダンスの祭典	アクトシティ浜松 大ホール	10/19	1,452	
	第22回浜松市中学校 総合文化祭（ステージ部門）	サーラ音楽 ホール	11/22	700	
	詩吟・琵琶演奏会	浜松市福祉 交流センター	11/30	150	
	第22回浜松市中学校 総合文化祭（展示部門）	クリエート浜松	12/2～7	4,028	
	特別支援学校作品展	アクトシティ浜松 市民ロビー	12/6・7	—	
第71回浜松市芸術祭 演劇・人形劇部門 （9企画）					
	人形劇公演	なゆた・浜北	10/12	182	浜松市内の演劇愛好者が企画・運営に参画し、市民劇団の舞台公演を中心にワークショップや招聘公演を開催した。
	演劇自主公演 演劇ユニット FOX WORKS	なゆた・浜北	11/15・16	217	
	演劇自主公演 MUNA-POCKET COFFEEHOUSE	クリエート浜松	11/22・23	514	
	演劇自主公演 M-planet	クリエート浜松	11/29・30	115	
	演劇自主公演 劇団からっかぜ	浜松市福祉 交流センター	12/7	252	
	演劇自主公演 シニア劇団浪漫座	浜松市福祉 交流センター	12/14	520	
	高校演劇選抜公演	浜松市勤労会館 (U ホール)	1/10・11	391	
	演劇オムニバス公演	浜松市鴨江 アートセンター	1/24・25	161	
	演劇ワークショップ	浜松市曳馬 協働センター	2/22	52	
第33回 ハママツ・ジャズ・ウィーク	アクトシティ浜松 他	10/18～26	18,337	浜松市がジャズ一色になる恒例のイベント。ジャズが持つ「大衆性・芸術性・多様性」を活かし、子どもから大人まで幅広い世代に渡って楽しめる機会を提供。 今回は子ども向けに楽器体験ワークショップを新たに組合せ、子どもたちの興味や関心を引き出した。 共催：浜松市、ヤマハ株式会社、静岡新聞社・静岡放送、ヤマハ音楽振興会	
第68回 中部日本吹奏楽コンクール 本大会	アクトシティ浜松 大ホール	10/4～5	4,185	中部日本吹奏楽連盟に加盟し、中部地区各県で選抜された中学・高校吹奏楽団によるコンクール。 共催：中部日本吹奏楽連盟	

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
バンド維新 2026	アクトシティ浜松 中ホール	3/15	724	浜松市内の吹奏楽団体が新作 2 曲およびアーカイブ 4 曲を演奏し、事前指導・リハーサルを通じて作曲家から直接指導を受けた。
演奏者派遣事業	市内各所	17 回	—	コンサートを主催したい施設・団体の運営サポートを行うとともに、地域の演奏家に活動の場を提供。
合 計		7 事業	38,697	

イ 浜松アーツ&クリエイション事業

(ア) 浜松市創造都市推進事業補助金に関する業務

事業名		期 間	件 数 (件)	内 容
はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金事業		4/1～30	30	はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金、申請に関する相談を受けた。
審査支援業務	一次審査 (書類審査)	5/15	27	応募件数：27 件 一次審査通過：17 件 ※通過後辞退 1 件
	二次審査 (プレゼンテーション)	6/13・14	16	採択件数：12 件 ※通過後辞退 2 件 (ステップアップ枠 9 件、チャレンジ枠 3 件)
採択者への伴走支援		7～2 月		各団体の活動準備状況確認、個別の相談に対応、マスメディアへの情報提供、掲載依頼等。
合 計		4 事業	73	

(イ) 浜松市民の文化活動・創造的な活動の調査および支援

事業名	期 間	件 数 (件)	内 容
ヒアリング調査	通年	89	浜松市内で文化活動・市民活動をしている方、および関係者を対象としたヒアリング。
文化活動視察	通年	63	浜松市内外で行われている事業を視察。
一般の相談対応	通年	47	広く市民からの文化創造活動の相談、および企業等のマッチングの依頼に対応。
合 計	3 事業	199	

(ウ) 浜松市民活動支援事業

事業名	会場	開催日	参加者数 (人)	内容
はままつ ReCreation LABO 「おむすば」	はままちプラス クリエート浜松 Any	5/30 7/18 9/19 11/21 1/23	57	アーティストやクリエイター同士が悩みを共有し、新たな気づきを生むサードプレイスのな出会いの場を創出した。
オフギャラリー活用事業 ドコデモアルト	BESS 浜松	12/20 12/21	318	文化芸術活動を行うアーティストに対し、発表の場と機会を創出するとともに、主体的に企画を行う人材の育成を図ることを目的に、展示会を企画し開催した。
はままつアートでつながる プロジェクト	浜松市街地エリア Any 千歳町モール街 THE GATE HAMAMATSU 跡地	8/29 11/8 11/15 11/22	2,300	中心市街地に新たな風景や関係性を生み出すことを目的とした、新しい文化表現のプロジェクトを実施した。
クリエイターズカタログ 活用事業 Creator's File Meet Up	協同組合浜松卸商 センター アルラ	12/6	130	「浜松クリエイターズファイルVol. 1」に掲載したクリエイターを可視化し、企業や地域との接点を創出することを目的に展示会を実施した。
市内企業と アーティストによる協働事業 HAMAMATSU C ²	ホテルコンコルド 浜松	3/27～30	151	ぬくもり工房の店舗・工場において撮影や録音等の制作活動を行い、その過程を踏まえた展示会、ワークショップを実施し、来場者が作品や制作背景および企業の歴史に触れる機会を設けた。
novel box	-	-	-	地域で活動するアーティストを可視化することで、分野を越えた関係性を生み、文化芸術を起点とした共創の動きを創出した。また、春野地区のアーカイブを作成し、引佐地区では地域の実態調査を実施した。
合 計		6 事業	2,956	

(エ) 情報発信事業

事業名	内容
公式ホームページサイトの管理運営	はままつ文化創造チャレンジ事業費補助金や浜松市内における文化芸術活動の担い手等を紹介。
SNS による情報発信	SNS (Facebook、Instagram、X) を活用して、補助金採択事業や浜松アーツ&クリエイションの活動や市内イベント情報などを紹介。
メルマガ配信	アーツ&クリエイションやイベント情報、外部補助金情報など配信。
News Letter の発行	Vol. 21～24 を各 2,000 部発行。

ウ はままつ文化芸術活動助成事業

文化団体自ら企画運営する創造的な文化活動で、その成果が浜松の文化に還元される事業を支援助成する制度。年2回募集。助成金額：上限10万円。

(7) 募集

() 内は前年度実績

	申請件数 (件)	採択件数 (件)
第1回募集 (令和7年 1月実施)	25 (29)	12 (13)
第2回募集 (令和7年 7月実施)	20 (38)	9 (12)
合計	45 (67)	21 (25)

(イ) 採択事業 (令和7年4月～令和8年3月開催分)

事業名	会場	主催者名	開催日	内 容	助成金 (円)
こどもとけんちく ずこうワークショップ	浜松市 鴨江アートセンター 他	青山友子	4/13 9/21 2/15	浜松在住の建築家が親子を 対象に図工を通して建築を 学ぶワークショップを開催。	85,570
ソナスアンサンブル演奏会 ～滑稽な愛、哀しい愛、 そして苦悩と祈り～	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	ソナス アンサンブル	4/27	浜松地域のアマチュア弦楽 器奏者による演奏会を開催。	100,000
浜松少年少女合唱団 第25回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	浜松少年少女 合唱団	4/29	浜松地域の子どもたちが参 加する合唱団の25周年を記 念した定期演奏会を開催。	100,000
第3回 irodori 作品展	イオンモール浜松 市野・シンフォニー コート	irodori プロジェクト	6/4～8	障害のある方の絵画を公募 し、ショッピングモールにて 展示。	※0
第22回各流琵琶演奏会	アクトシティ浜松 音楽工房ホール	静岡県 琵琶協会	6/8	静岡県の琵琶楽の各流派合 同の演奏会を開催。	100,000
“市民との絆をつくる” 第21回浜松美術協会展	クリエート浜松	浜松美術協会	6/24～ 7/6	浜松市を拠点に活動する美 術団体による展覧会を開催。	100,000
浜松混声合唱団 演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	浜松混声合唱団	7/5	ミサとジャズを掛け合わせ た合唱曲を披露。浜松出身の チェリストを招待し、ゲスト ステージを設けた。	100,000
ことの和	旧辻亭	浜松水引きの会	8/2・3	水引き小物制作や伝筆講座 など和文化を体験できるワ ークショップを開催。	100,000
HAMAMATSU BRASS FIVE ～秋風彩る金管五重奏の 響宴～	浜松市福祉交流 センター	HAMAMATSU BRASS FIVE	9/12	浜松に縁のある金管奏者5 名によるコンサート。ゲスト に浜松出身の若手トロンボ ーン奏者や声楽家を招いた。	100,000

事業名	会場	主催者名	開催日	内 容	助成金 (円)
Flute Ensemble Liberte コンサートシリーズ 7th/ 音楽のおくりもの	かじまちヤマハ ホール、 浜松市地域情報 センター	Flute Ensemble Liberte	9/19・20	浜松出身のフルーティスト 4名によるコンサート。親子 参加型コンサートや楽器体 験会も実施。	100,000
浜松ブルース フェスティバル 2025	ギャラリーモール 「ソラモ」	浜松ブルース 振興会	9/28	全国のブルース愛好家が浜 松に集結し、屋外開催の音楽 フェスを実施。	100,000
竹内雅明日本画古希回顧展	クリエート浜松 ギャラリー34	竹内雅明	11/19 ～30	浜松在住の日本画家が古希 を記念して自身の画業 50 年 を振り返る展示会を開催。	100,000
浜松市とスイス・ベルン市の 子ども絵画交流展	クリエート浜松	浜松・ベルン 子ども絵画展 実行委員会	11/25 ～30	ベルン市と浜松市の子ども が食と環境の視点から「大切 なもの」について描いた絵画 を展示。	100,000
Enban Ensemble 1st Concert	クリエート浜松	Enban Ensemble	12/13	浜松出身の現役音大生 7 名 が大学や居住地の垣根を越 えて初めてのコンサートを開 催。	97,365
浜松邦楽鑑賞会	聴涛館	鶴翔会	12/21	浜松の邦楽愛好家達による 発表会とプロの演奏家によ る邦楽ライブを開催。	100,000
静岡大学混声合唱団 第 60 回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	静岡大学 混声合唱団	2/15	静岡大学混声合唱団が第 60 回の定期演奏会を記念して OBOG と共に演奏を披露。	100,000
浜松古楽フェスティバル 2026	浜松市鴨江アート センター	古楽振興協会 ムジカ・アンテ ィカ浜松	2/15	古楽器の展示や演奏、ワーク ショップを通じ、古楽を身近 に感じられる機会を提供。	100,000
第 4 回 箏のしらべ ～遠州地方のわらべうたを 訪ねて～	浜松市福祉交流 センター	浜松ジュニア・ ユース 邦楽合奏団	2/23	小学生から大人まで世代を 超えた団員達がゲストにプロ 尺八奏者を招き演奏会を開 催。	100,000
NPO 法人 アンサンブル・ムジーク浜松 ～創立 25 周年 記念コンサート～	アクトシティ浜松 中ホール	NPO 法人 アンサンブル・ ムジーク浜松	3/1	創立 25 周年を記念し、室内 楽オーケストラの魅力を十分 に堪能できる演奏会を開 催。	100,000
浜松咲桜 御城将棋処	松韻亭、 高台協働センター	湖西将棋道場	3/1・29	将棋の対局の他、茶席や将 棋駒ストラップ作りなど、 伝統文化を感じられる機会 を提供。	100,000
浜松交響楽団 創立 50 周年記念 第 100 回定期演奏会	アクトシティ浜松 大ホール	公益財団法人 浜松交響楽団	3/15	創立 50 周年記念、100 回目の 定演演奏会を公募した合唱団 と共に盛大に開催。	100,000
合 計			21 事業		1,982,935

※申請時の収支計画より変更があり助成金の交付は不要となったため、広報支援のみ実施。

エ オークラクトシティホテル浜松 Presents 若い音楽家のための助成事業

事業名	会場	主催者名	開催日	内 容	助成金 (円)
- Sen - Ayako Suzuki solo piano concert	Round table	鈴木絢子	6/21	浜松出身・在住ピアニストによる演奏会を開催。	100,000
天色音楽会	なゆたホール	宮下まゆき	9/20	浜松出身・在住ピアニストが異ジャンルの奏者を招いて演奏会を開催。	100,000
巢立ひかり ファゴットリサイタル	かじまち ヤマハホール	巢立ひかり	10/19	浜松出身・在住のファゴット奏者が同じく浜松出身・在住のピアニストと公演を開催。	100,000
Alles 浜松公演	カワイ浜松 コンサートサロン 「ブリエ」	横山葉瑠奈	11/1	浜松出身、Osaka Shion Wind Orchestra のコントラバス奏者が所属するトリオによる浜松公演を開催。	100,000
Cerca Flux Vol.1 ピアニスト黒岩航紀氏を迎えて	かじまち ヤマハホール	土岐光秀	11/2	サクソとフルートのデュオが浜松国際ピアノコンクール出場者を迎えてリサイタルを開催。	100,000
関口詩織 ピアノ・リサイタル	カワイ浜松 コンサートサロン 「ブリエ」	関口詩織	11/22	市内楽器産業に勤務しながら活動を続けるピアニストが浜松で初の演奏会を開催。	100,000
Bond Saxophone Quartet & Couleur Saxophone Quartet Joint Concert	クリエート浜松 ホール	立畠響介	11/28	浜松で活動するサクソカルテット 2 団体によるジョイントコンサートを開催。	100,000
浜松学芸高校卒業生による アンサンブルコンサート	浜松学芸高等学校 ときわホール	北畠志保	12/21	浜松学芸高校出身のフルート、ピアノ、クラリネットの演奏家によるコンサート。	100,000
合 計			8 事業		800,000

オ 浜松市内文化団体・文化協会

(7) 浜松市浜松文化協会

合併前の旧浜松市で活動する主要な文化団体によって構成され、各団体の活動状況の把握や意見調整等を行った。

第1回 令和7年7月17日 会場：浜松市浜北文化センター

第2回 令和8年1月26日 会場：クリエート浜松

(4) 浜松市内文化協会連絡会

合併後、浜松市となった地域の文化協会によって構成され、広域となった市の文化状況を把握するとともに、支援を行った。

第1回 令和7年7月3日 会場：浜松市浜北文化センター

第2回 令和8年1月29日 会場：浜松市浜北文化センター

(ウ) 浜松市内文化協会助成金

浜松市内文化協会連絡会に加盟する文化協会 10 団体が実施する文化活動に対し、最大 15 万円を助成した。

採択事業（令和 7 年 4 月～令和 8 年 3 月開催分）

事業名	会場	主催者名	開催日	内容	助成金 (円)
春野文化協会体験会	浜松市春野 文化センター	春野 文化協会	9/7	会員の減少、高齢化の進む 中、会員加入を目的に体験 会を実施。	109,660
第 21 回天竜芸術祭 芸能発表会	浜松市 天竜壬生ホール	天竜 文化協会	10/26	天竜地区で活動する文化 活動団体や市民芸術愛好 者による発表会を実施。	150,000
はまきた児童・生徒の絵画・ 書道作品展	プレ葉ウォーク 浜北	浜北 文化協会	11/1～3	旧浜北区内の児童・生徒の 絵画及び書道作品を募 集・展示会を実施。	150,000
第 63 回浜松市細江文化祭 芸能発表会	みをつくし 文化センター	細江 文化協会	11/3	会員による芸能発表会を 実施。	150,000
会報「いのはな」発行	—	三ヶ日 文化協会	—	三ヶ日文化祭を中心に文 化協会の活動実績を掲載。	150,000
合 計			5 事業		709,660

カ インターンシップ実習受入

浜松市内や静岡県内外の大学生を中心に受入。受入に伴い、事前ガイダンスを実施した後、各課・館にて実習を行った。所管施設での受け入れは各所管施設にて報告。

実習期間：令和 7 年 8 月 1 日～9 月 29 日の内、5 日程度

文化事業課受入れ人数：9 人（6 大学）

(4) 浜松市の行う芸術文化事業の受託と協力

事業総括

令和7年度においても、「創造都市・浜松」の実現に向けて、国際事業から浜松市内児童を対象とした育成事業まで、規模・分野・対象層の異なる多様な事業を実施しました。

・ジュニアオーケストラ浜松・クワイア事業

団員数の減少傾向への対応として、活動内容の周知強化に取り組みました。定期演奏会やスプリングコンサートに加え、大型商業施設や公園、公共施設等において積極的に演奏機会を設け、団の認知向上と団員確保に努めました。

・浜松市アクトシティ音楽院事業

アカデミーコースでは、「浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル」において、コロナ禍以降中止していた選抜受講生によるプレミアムコンサートを再開・公開し、事業成果を広く市民に発信しました。

また、コミュニティコースでは、令和6年度に開始した学生に加え一般参加者も対象としたジャズ講座が好評であったことから、令和7年度においては実施回数を増やし、参加機会の拡大を図りました。

・浜松国際ピアノコンクール事業

令和7年度は、第12回コンクール優勝者ツアーや入賞者によるコンサート等を実施し、前回コンクールの事業成果を顕彰するとともに、コンクール及び浜松市の取り組みを国内外に発信しました。特に、欧州の音楽事務所と提携して開催したロンドン公演では、会場は満席となり、現地音楽関係者も多数来場し、各種媒体において公演レビューが掲載されるなど、海外における有意義な発信機会となりました。

また、令和9年度に開催する第13回コンクールの各種委員会も立ち上げ、実施要項の策定など、開催に向けた準備を進めました。

上記のほか、オルガン関連事業、浜松吹奏楽大会事業、音楽文化都市交流事業、こども音楽鑑賞教室事業、はまっつクリエイティブシティブースター事業等、多彩な創造都市関連事業を浜松市と連携して実施しました。

ア オルガン関連事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
オルガンミニコンサート	アクトシティ浜松 中ホール	8/15 9/11 11/26 2/13	454 196 353 211	アクトシティのオルガンと中ホールを多くの市民に知っていただくための無料の短時間コンサート。
オルガン演奏会事業	浜松市 福祉交流センター	5/21 10/15 12/11 3/11	141 147 300 160	福祉交流センターのオルガンを通じて、市民のオルガンに対する理解や関心を深めた。
オルガンレクチャー	浜松市 福祉交流センター	7/28	20	オルガンの歴史や仕組みが分かるDVDを観たり、実際にオルガン演奏台で楽器の内部構造を見たりして、オルガンに親しんでいただくための入門講座。
第15回 オルガンのパイプを 作ってみよう！	アクトシティ浜松 中ホール コンgresセンター 52～54 会議室	8/13	78	夏休みの小・中学生向けワークショップ。オルガンの音の鳴る仕組みを学びながら、紙でパイプを作成。
合 計		4 事業	2,060	

イ まちなかコンサート開催事業

事業名	会場	開催回数	入場者数(人)	内 容
プロムナードコンサート	JR 浜松駅 北口広場 「キタラ」他	17 回	8, 150	浜松市内の学校及び一般の吹奏楽演奏団体が出演する無料イベント。市民に発表・鑑賞・交流の機会を提供。(4月～12月の25回予定のうち雨天による中止8回) 協力：浜松市吹奏楽連盟
街かどコンサート	ギャラリーモール 「ソラモ」	1 回	300	浜松市内で活動する合唱団が出演する屋外コンサート。 協力：浜松市合唱連盟
まちなかにぎわいコンサート	JR 浜松駅 北口広場 「キタラ」他	5 回	1, 750	浜松市内音楽愛好家団体が公演をプロデュース。合唱・ジャズ等の多彩なジャンルの団体が出演する無料イベント。
合 計		3 事業	10, 200	

ウ ジュニアオーケストラ浜松 (J0)・ジュニアクワイア浜松 (JC) 運営事業

事業名	会場	開催日	入場者数(人)	内 容
団員募集・定期練習	市内諸施設	通年 (週1回)		団員の募集・育成・公演をマネジメント。音楽を通じて、豊かな感性を備え、文化的視野を持った青少年の育成。 団員数は J0:98 名、JC:43 名
定期練習	市内諸施設	通年 (週1回)		
ジュニアクワイア浜松 第31回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/7	598	
ジュニアオーケストラ浜松 第31回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	9/21	877	
スプリングコンサート 2026	アクトシティ浜松 大ホール	3/8	1, 220	
その他演奏会の実施	イオンモール 浜松市野	4/19	—	2 回公演 依頼演奏 (JC)
	アクトシティ浜松 サンクンプラザ	5/4	—	アクトでやрмаいか浜松まつり 依頼演奏 (J0)
	りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館	8/15～18	—	ジュニアオーケストラ・フェスティバル 2025 in NIIGATA への参加 (J0)
	ギャラリーモール ソラモ	8/15	—	プラタナスコンサート 依頼演奏 (JC)
	浜松市立青少年の家	8/19～20	—	夏期合宿 (JC)
	クリエート浜松	8/24	—	クリエート夏まつり 依頼演奏(J0)
	アクトシティ浜松 中ホール	10/12	—	浜松市民文化フェスティバル 2025 「浜松市民合唱祭 2025」依頼演奏 (JC)
	はままつ フラワーパーク	12/6	—	フラワーパーククリスマスコンサート 依頼演奏 (JC)

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
	浜松こども館	12/7	—	「オーケストラを奏でよう」 依頼演奏 (JO)
	浜松こども館	12/14	—	「響け歌声!ジュニアクワイア浜松」 依頼演奏 (JC)
	はままつ フラワーパーク	12/21	—	フラワーパーククリスマスコンサート 依頼演奏 (JO)
	浜松市役所	12/24	—	市役所ロビーコンサート 依頼演奏 (JC)
	オークラクト シティホテル浜松	12/25	—	クリスマスロビーコンサート 依頼演奏 (JO・JC)
	クリエート浜松	1/24	—	クリエート浜松冬まつり 依頼演奏 (JO)
	清水テルサ	2/1	—	第 36 回静岡県ヴォーカルアンサンブルコン テスト出場 (JC)
	清水マリナート	3/15	—	第 15 回関東ヴォーカルアンサンブルコン テスト出場 (JC)
	国立オリンピック 記念青少年総合 センター	3/26～29	—	第 42 回トヨタ青少年オーケストラキャンプ (JO) 特別演奏会 (サントリーホール)
合 計		6 事業	2, 695	

エ 浜松吹奏楽大会 2026 事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
地域交流プログラム	市内中学校	3/23～25	336	吹奏楽の普及とレベルの向上を目的とした 全国規模の事業。キタラでのプロムナード コンサートをはじめ、浜松市内中学校を会 場とした地域交流プログラム、全国から参 加した高校生の交流会等の関連イベントも 同時開催。
第 14 回 全国中学生交流コンサート	アクトシティ浜松 中ホール	3/21	963	
第 38 回 全日本高等学校選抜吹奏楽大会	アクトシティ浜松 大ホール	3/22	2, 666	
合 計		3 事業	3, 965	

オ 音楽文化都市間交流事業

事業名	会場	開催日	派遣者数 (人)	内 容
浜松市・札幌市 音楽文化都市交流事業	札幌市立 東白石中学校、 札幌コンサートホール Kitara 大ホール	11/1～3	29	浜松ライオネット児童合唱団を派遣し、札 幌市立東白石中学校合唱部と交流。「さっ ぽろスクール音楽祭」に合同出演した。
合 計		1 事業	29	

カ こどものための音楽鑑賞教室事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
第25回こども音楽鑑賞教室 「こんにちはオーケストラ」 (全4回公演)	アクトシティ浜松 大ホール	2/4・5	6,605	浜松市内の小学5年生全員を対象に、オーケストラの鑑賞機会を提供。 指揮：鈴木恵里奈 演奏：富士山静岡交響楽団 観覧対象者：浜松市内小学5年生(児童5,619人、引率305人、招待・一般681人)

キ 浜松市アクトシティ音楽院事業

事業名	会場	開催日	受講者数等 (人)	内 容
アカデミーコース 世界レベルで活躍する演奏家の育成と世界に向けた音楽文化発信事業 (2事業)				
音楽院修了生公演事業	市内小中学校 ほか	10回	2,049	アクトシティ音楽院修了生に、市内外の音楽活動の場を提供する公演を企画。
第31回浜松国際 管楽器アカデミー& フェスティバル	アクトシティ浜松	8/4～9	1,374	国内外で活躍する演奏家を講師として迎え、管楽器奏者を育成する短期セミナー(11クラス)と、講師陣による特別講座や、受講生を交えたコンサートを開催。
コミュニティコース 市民が参加・体験できる講座の開催と人材育成事業 (9事業)				
ジャズ文化講座	クリエート浜松	7/25 8/1 8/29 9/5 9/12	703	守屋純子他を講師に迎え、一般の方を対象にジャズの講座を開催。
吹奏楽セミナー				
保科洋の吹奏楽 楽曲分析・解釈講座	アクトシティ浜松 中ホール リハーサル室1号	4/6	68	保科洋音楽監督を講師に、フィルハーモニックウインズ浜松をモデルバンドとして吹奏楽課題曲講習会を開催。
楽器パート別講座 (小学生)	サーラ音楽ホール	5/10 6/14 8/2	56 55 55	浜松ジュニアブラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催。
合奏講座 (小学生)	サーラ音楽ホール	8/23 1/24	55 47	主に浜松ジュニアブラスを対象としたパート別講座と基礎合奏を学ぶ合奏講座他を開催。
吹奏楽指導研究講座	あいホール	9/28	48	吹奏楽指導者向けの小編成バンド指導法講座を開催。 講師：伊藤康英 コーディネーター：土屋史人
浜松市所有ジャズ譜 貸出事業	—	通年	3件	金管バンド用、吹奏楽用等に編曲したジャズ譜を、市内アマチュア音楽団体を対象に無料貸出し。

事業名		会場	開催日	受講者数等 (人)	内 容
	「交響組曲『ピーターパン』 (吹奏楽版)」 音源・楽譜貸出事業	—	通年	0 件	教育文化奨励賞受賞、浜松ゆかりの芸術家・佐藤賢太郎が作曲した楽曲の音源・楽譜のアマチュア団体向け無料貸出し。
	主催者育成セミナー	クリエート浜松	12 回	受講者 10 入場者 236	演奏家と聴衆を繋ぐ役割としての音楽イベント主催者を育成。全 12 回のセミナーにより公演開催ノウハウを学習し、受講者による自主企画公演「野々村彩乃ソプラノリサイタル〜歌姫の甘い響きをあなたに〜」を 2 月 14 日に開催。
	合唱セミナー	クリエート浜松 2 階ホール	1/10	128	指揮者の伊東恵司を講師に迎え、合唱愛好者を対象にした実践的レッスンと市内学校や一般団体を対象としたワンポイントレッスンを開催。 受講：6 団体
	こども音楽セミナー	浜松市立高校 クリエート浜松 他	10～12 月	571	生涯学習音楽指導員が子どもたちに音楽指導をする講座。邦楽・吹奏楽(小・中学生)・洋楽教室の 3 クラス。最後の第 4 回目では保護者に向けた成果発表会を実施。
	パークリー音楽大学事業	浜松日体 中学校・高等学校 音楽ホール	2/13	80	大学側事情により中止となったオーディションの代替企画。同大学出身の曾根麻央らを招聘し、学校側の希望曲を課題曲としクリニックを開催。 モデルバンド：浜松日体中学校・高等学校吹奏楽部
	音楽指導者派遣事業	市内 希望学校・団体	通年	受講者 29,905 (派遣件数 280 件)	音楽院の音楽指導者登録者を浜松市内の音楽活動団体へ派遣。
合 計			11 事業	35,440	

ク ランチタイムコンサート事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
出張 ランチタイムコンサート	船越小学校	11/10	150	演奏家が市内学校や企業等を訪問し、音楽に興味を持つきっかけ作りとして昼休みの時間帯にミニコンサート(金管五重奏や弦楽アンサンブル)を開催。
	スターバックスコーヒー 浜松城公園店	11/13	60	
	雄踏小学校	11/14	250	
	北浜東部中学校	12/3	340	
	砂丘小学校	12/5	50	
合 計		5 事業	850	

ケ 地域音楽交流会開催事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
遠州ええじゃないか祭り	舞阪支所 駐車場	10/12	325	天竜川・浜名湖地域 12 市町村合併 20 周年の 節目に、地域に対する愛着や誇りを育み、市 民 1 人 1 人が文化芸術の魅力を再確認する機 会の創出を目的として、音楽、演劇、輪踊り を掛け合わせたコラボレーションイベント を開催。
	なゆた浜北 駅前広場	10/19	448	
合 計		2 事業	773	

コ はままつクリエイティブシティブースター事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
HAMAMATSU CREATIVE BOX ～つくる・ふれる・つながる～	【メイン会場】 アクトシティ浜松 展示イベントホール 【サテライト会場】 浜松市 鴨江アートセンター 浜松科学館	11/29・ 30	6,361	会場はブースエリア及びステージエリアの 二つに区分し、ブースエリアにおいては、浜 松市内のアーティスト、クリエイター及び企 業による出展を実施。ステージエリアにおい ては、アーティストによるライブパフォーマ ンス及び出展者によるトークショーや浜松 市内の中高生を対象とした軽音楽祭を開催。

サ ジェイミーのコンサート事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
ジェイミーのコンサート in 浜松	浜松市 福祉交流センター	12/4	140	ピアニスト小川典子がライフワークとして いる、自閉症者とその家族のためのコンサ ートを開催。

シ ハママツ・ジュニア・コーラス・フェスティバル事業

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
ハママツ・ジュニア・コーラ ス・フェスティバル 2026	アクトシティ浜松 中ホール 展示イベントホール	1/11	677	浜松市内外の青少年合唱団の交流促進と、こ どもたちが主役となる地域の音楽活動の振 興を目的に、コンサートと交流会を開催。 市内：5 団体、市外：1 団体、県外：2 団体

ス 浜松国際ピアノコンクール事業

(7) 実行委員会・運営委員会の開催

あ 第12回コンクール 第5回実行委員会開催

日 時 5月26日 13:30～13:55

会 場 浜松市役所 庁議室

議 題 令和6年度事業報告及び会計報告、第13回コンクール審査委員長選任 他

い 第13回コンクール 第1回実行委員会・運営委員会開催（合同開催）

日 時 10月28日 13:00～13:30

会 場 浜松市役所 庁議室

議 題 第13回コンクール実行委員委嘱、第13回コンクール開催スケジュール概要、令和8年度事業計画案及び収支予算案 他

う 第13回コンクール 第2回実行委員会開催

日 時 3月17日 13:30～14:00

会 場 浜松市役所 庁議室

議 題 第13回コンクール実施要項案、令和8年度予算 他

(イ) 専門委員会の開催

あ 第13回コンクール 第1回専門委員会

日 時 12月6日 20:00～22:00

会 場 オンラインにて開催

議 題 第13回コンクール募集概要、審査委員候補者、課題曲案 他

い 第13回コンクール 第2回専門委員会

日 時 2月24日 19:30～20:50

会 場 オンラインにて開催

議 題 第13回コンクール審査委員候補者、課題曲案 他

(ウ) 第12回コンクール優勝者ツアーの実施（出演者の記載がない公演は、優勝者・鈴木愛美が出演）

日程	都市	内容	会場	主催	入場者数 (人)
4/20	別府	リサイタル(アルゲリッチ芸術財団賞) 《別府アルゲリッチ音楽祭》 「世界へ羽ばたく音楽家たち Vol.14」	しいきアルゲリッチ ハウス	アルゲリッチ 芸術振興財団	126
4/26	大津	指揮:阪哲朗／京都市交響楽団 《びわ湖の春 音楽祭 2025》	びわ湖ホール 大ホール	びわ湖 芸術文化財団	1,336
4/27	大津	リサイタル 《びわ湖の春 音楽祭 2025》	びわ湖ホール 小ホール	びわ湖 芸術文化財団	319
6/15	秋田	リサイタル	秋田アトリオン 音楽ホール	厚生ビル管理(株)	251
6/19	東京	入賞者披露演奏会 東京公演 (入賞者6名出演)	日本製鉄 紀尾井ホール	主催公演	501
6/21	新潟	ガラコンサート (鈴木愛美、ヨナス・アウミラー、小林海都)	新潟市民芸術文化 会館 りゅーとぴあ	新潟市芸術文化 振興財団	582

日程	都市	内容	会場	主催	入場者数 (人)
6/29	名古屋	ガラコンサート (鈴木愛美、ヨナス・アウミラー、 小林海都)	愛知県芸術劇場 コンサートホール	クラシック名古屋	896
7/11	小松	荒木流音生指揮／ オーケストラ・アンサンブル金沢 《小松定期公演 夏》	石川県小松市 團十郎芸術劇場 うらら	オーケストラ・ アンサンブル金沢	550
7/23	福岡	尾高忠明指揮／大阪フィルハーモニー 交響楽団《福岡公演》	アクロス福岡 シンフォニー ホール	大阪 フィルハーモニー 交響楽団	1,630
7/27	浜松	佐々木新平指揮／浜松交響楽団 《夢に追いかぜコンサート in 浜松》	アクトシティ浜松 中ホール	浜松いわた 信用金庫 ほか	922
8/5	ドゥシニキ (ポーランド)	リサイタル ドゥシニキ＝ズドルイ 国際ショパン・ピアノ音楽祭	ショパン記念の家	音楽祭事務所	250
8/16	高崎	クリストフ・コンツ指揮／群馬交響楽団 群響サマーコンサート 2025	高崎芸術劇場	群馬交響楽団	1,005
9/7	シンシナティ (アメリカ)	リサイタル マチネ・ミュージカル・シンシナティ ★	Cincinnati Memorial Hall	Matinée Musicale Cincinnati	公演中止
11/8	広島	沼尻竜典指揮／広島交響楽団 音楽の花束・秋	広島国際会議場 フェニックスホール	広島交響楽団	700
11/16	東京	ダレル・アン指揮／ 新日本フィルハーモニー交響楽団 “新しい風”スペシャルコンサート	すみだ トリフォニーホール 大ホール	新日本フィルハー モニー交響楽団	836
11/22	札幌	リサイタル (札幌市長賞)	札幌コンサート ホール Kitara	札幌市	394
12/12	さいたま	出口大地指揮／ 日本フィルハーモニー交響楽団 日本フィル・ソニックシティ「第九」演奏会	ソニックシティ 大ホール	埼玉県産業文化セ ンター	1,854
1/12	浜松	リサイタル アクト・ニューアーティスト・シリーズ 特別版	アクトシティ浜松 中ホール	主催公演	888
1/23	ロンドン	リサイタル The Hamamatsu International Piano Competition presents Manami Suzuki	キングス・プレイス ホール 1	主催公演	400
2/14	岡山	リサイタル	岡山芸術創造劇場 ハレノワ 中劇場	岡山文化芸術創造	280
2/22	静岡	高関健指揮／富士山静岡交響楽団 第 135 回定期演奏会	静岡市清水文化会館 マリナート 大ホール	富士山静岡 交響楽団	839
2/23	浜松	高関健指揮／富士山静岡交響楽団 第 135 回定期演奏会	アクトシティ浜松 中ホール	富士山静岡 交響楽団	810

日程	都市	内容	会場	主催	入場者数 (人)
2/26	川崎	リサイタル 夜ピアノ 2025season	ミューザ川崎 シンフォニー ホール	神奈川芸術協会	1,900
3/7	札幌	尾高忠明指揮／札幌交響楽団 第 675 回定期演奏会	札幌コンサート ホール Kitara	札幌交響楽団	1,335
3/8	札幌	尾高忠明指揮／札幌交響楽団 第 675 回定期演奏会	札幌コンサート ホール Kitara	札幌交響楽団	1,403
3/13	名古屋	クレメンス・シュルト指揮／ 名古屋フィルハーモニー交響楽団 第 543 回定期演奏会＜姫の肖像＞	愛知県芸術劇場 コンサートホール	名古屋フィルハー モニー交響楽団	1,325
3/14	名古屋	クレメンス・シュルト指揮／ 名古屋フィルハーモニー交響楽団 第 543 回定期演奏会＜姫の肖像＞	愛知県芸術劇場 コンサートホール	名古屋フィルハー モニー交響楽団	1,464
合 計				26 事業★	22,796

★中止事業を除く

(エ) 第 12 回コンクール入賞者の公演

日程	都市	内容	会場	主催	入場者数 (人)
6/27	静岡	ヨナス・アウミラー ピアノ・リサイタル	グランシップ 中ホール大地	静岡県文化財団	255

(オ) 関連演奏会の実施

事業名	会場	開催日	入場者数 (人)	内 容
第 13 回パデレフスキ国際 ピアノコンクール優勝者 ノ・ヒョンジン＜ピアノ＞	かじまち ヤマハホール	3/17	84	2025 年に開催された第 13 回パデレフスキ国 際ピアノコンクールとの連携事業。

(カ) 第 13 回コンクール開催準備

- あ 実行委員会の設置
- い 専門委員の選任、専門委員会の開催
審査委員候補、募集要項案の策定
- う 公式デザイン案の募集
- え 優勝者・入賞者特典の準備

(キ) 国際音楽コンクール世界連盟総会への出席

日 程 6 月 26 日～29 日
開催都市 ハルビン市（中国）

(ク) アーリンク・アルゲリッチ財団との提携

- ・イヤブックへの広告掲載
- ・コンクール情報の提供

(5) 芸術文化活動の促進と地域社会活性化の拠点となる施設の整備、貸与及び運営

ア アクトシティ浜松

運営総括

アクトシティ浜松では、令和7年7月より、研修交流センターの改修工事に伴う利用停止期間に入りました。利用停止期間中も、代替施設等の案内に加え、利用者からの個別相談にきめ細かく対応するなど、利用者視点に立った運営支援を継続し、リピーターの確保に向けた信頼関係の維持に努めました。

研修交流センターを除く稼働施設においては、県内外の類似施設の改修休館に伴う需要の取り込みを図った結果、大型コンベンションの開催件数は前年度比83%増、興行系催事についても前年度比58%増となりました。催事数の増加に伴い、利用者の個別要望に対応する「サポートサービス」の受注も順調に推移し、一昨年度の最高額に迫る受注額を達成しました。

また、アクトシティ及び中心市街地のにぎわい創出に向けて、改修中においてもタワー内の店舗や企業と連携し、官民一体となった活性化事業を展開しました。

・サポートサービス事業

令和7年度は、施設利用者のニーズを踏まえ手頃な価格帯の弁当メニューの充実を図りました。これにより、大規模コンベンションに加え、展示イベントホールや各種催事における受注も拡大し、売上の増加につながりました。

・アクトシティ活性化事業

恒例の浜松まつり関連イベントをはじめ、施設の裏側を体験できる児童向け夏休み企画や、地元クリエイターを起用したクリスマス装飾を実施し、にぎわいと交流の創出に取り組みました。

・改修工事への対応

浜松市及び工事関係者との緊密な調整・連携のもと、工事に関する各種調整や迅速な現場対応に努め、改修工事の円滑な進捗を支えました。

(ア) アクトシティ活性化事業

事業名	会場	開催日	参加者数 (人)	内容
アクトでやрмаいか 浜松まつり	サンクン プラザ	5/3～5	39,000	14店舗による飲食ブースと、市内中高等学校吹奏楽部やダンス、ポップス・オールデイズなど音楽イベントを実施した。
アクトシティスタンプラリー	アクトシティ 浜松他	5/3～5	270	浜松まつり開催時期に合わせ、アクトシティをはじめ観光インフォメーションセンター、科学館他と協力し実施した。
夏休み特別版 アクトシティスタンプラリー	アクトシティ 浜松他	8/1～29	356	夏休み期間に合わせ、アクトシティをはじめ観光インフォメーションセンター、科学館他と協力し実施した。
アクトシティ大冒険！	大ホール アクトタワー 他	8/6	36	小学生を対象とし、大ホールの舞台機構や音響・照明装置、楽屋をはじめ、ホテル客室や展望回廊、ヘリポートの見学を実施した。
クリスマス装飾	市民ロビー他	11/14 ～12/25	—	市民ロビーガラス面に浜松市在住カメラマンの11作品を展示。またアクトタワー1Fロビー及びエスカレーターにクリスマス装飾を実施した。

事 業 名	会 場	開催日	参加者数 (人)	内 容
アクトタワーライトアップ事業				
「健康ハートの日」 (赤色)	アクトタワー	8/10	—	国際啓発デーや県イベント等にちなみ、イメージカラーを用いたアクトタワーヘリポート下部へのライトアップを実施し、各種キャンペーンに参加した。
「臓器移植推進月間グリーン ライトキャンペーン」 (緑色)		10/16	—	
「世界脳卒中デー」 (青色)		10/29	—	
「繋ごう！パープルデー SHIZUOKA 2026」 (紫色)		3/26	—	
合計		6 事業	39,662	

(イ) コンベンション等実施状況

(県単位以上の大会・コンベンション等を記載 財団事業除く)

利用日	大会名称	利用施設	参加者数 (人)
5/21～23	日創研経営研究会 2025 全国大会 in 浜松	大ホール、中ホール 展示イベントホール コンgresセンター	5,790
5/26～28	公益社団法人日本植物園協会 第60回大会	コンgresセンター 研修交流センター	449
6/7	第9回日本臨床薬理学会東海・北陸地方会 *	コンgresセンター	79
6/14～15	第38回静岡県作業療法学会	コンgresセンター	601
6/17～18	令和7年度静岡県学校農業クラブ連盟 各種発表県大会	コンgresセンター	705
6/21～22	第28回静岡県理学療法学会大会 *	コンgresセンター	710
6/27～28	一般社団法人茶道裏千家淡交会 第4回東海地区交流会	コンgresセンター	550
7/10～12	第32回日本遺伝子診療学会大会 *	コンgresセンター	1,084
7/15～17	第66回全国IE年次大会 *	大ホール、中ホール コンgresセンター	1,125
7/18～23	第29回PIARA 国際ピアノコンクールファイナル	中ホール	2,220
7/20～25	第18回ビジネスマッチングフェア in Hamamatsu 2025	展示イベントホール コンgresセンター	8,880
8/2	日本医療マネジメント学会 第30回静岡県支部学術集会	コンgresセンター	150

利用日	大会名称	利用施設	参加者数 (人)
8/8～10	静岡県吹奏楽コンクール 高等学校の部	大ホール、中ホール	3,600
8/20～21	第76回関東地区学校農業クラブ連盟大会 令和7年度静岡大会 *	中ホール コンgresセンター	1,600
8/22～24	第80回東海吹奏楽コンクール中高A部門 *	大ホール、中ホール	4,630
8/28～30	日本学術会議協力学術研究団体 全国大学音楽教育学会 第40回全国大会《浜松大会》	中ホール コンgresセンター	180
9/2～3	第14回静岡県高齢者福祉研究大会	中ホール コンgresセンター	1,502
9/4～5	基幹労連第23回定期大会	大ホール コンgresセンター	2,292
9/4～7	第9回日本リンパ浮腫治療学会 学術集会 *	コンgresセンター	1,350
9/17～19	言語処理若手シンポジウム (YANS2025)	展示イベントホール コンgresセンター	1,217
9/19～21	第40回日本皮膚外科学会総会・学術集会	コンgresセンター	480
10/3～5	第68回中部日本吹奏楽コンクール本大会	大ホール、中ホール コンgresセンター	7,270
10/10～13	日本教育心理学会第67回総会	コンgresセンター	2,990
10/20～24	ISO TC268 国際会議 *	コンgresセンター	315
10/27～30	第72回日本ウイルス学会学術集会	中ホール 展示イベントホール コンgresセンター	3,950
11/8～9	第78回全日本合唱コンクール全国大会小学校部門	大ホール、中ホール コンgresセンター	4,280
11/29～30	日本心臓リハビリテーション学会第11回東海支部地方会	コンgresセンター	225
1/7～9	基幹労連 加盟組合代表者会議 *	中ホール コンgresセンター	1,200
1/17	第48回日本体外循環技術医学会 東海地方会学術大会 *	コンgresセンター	132
2/12～14	第36回全国付添人経験交流集会	コンgresセンター	603
2/27～28	日本老年麻酔学会第38回学術集会	コンgresセンター	240
2/3～3/17	令和7年分確定申告相談会場 令和8年度市民税・県民税申告相談会場	展示イベントホール	14,520
3/13～15	第46期オセロ名人戦	コンgresセンター	440
合 計		33 件	75,359

※1 * 印：会議の開催形式は、現地来場とWEB配信のハイブリッド

※2 参加者数はアクトシティ浜松来場者のみカウント

(ウ) 施設稼働率

あ ホール及び会議室

() 内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
大ホール		79.7% (78.5%)	301 (303)	240 (238)	282,209 (246,683)
中ホール		81.2% (80.3%)	303 (309)	246 (248)	108,173 (106,723)
展示イベントホール		62.1% (67.3%)	330 (333)	205 (224)	138,629 (97,319)
コンgresセンター 会議室 (13 室)		78.3% (69.3%)	4,400 (4,448)	3,444 (3,082)	90,956 (72,356)
研修交流 センター	音楽工房ホール	65.5% (69.1%)	87 (337)	57 (233)	4,906 (20,999)
	音楽セミナー室 (13 室)	47.1% (55.4%)	1,138 (4,482)	536 (2,484)	1,827 (8,543)
	会議室 (10 室)	67.0% (77.0%)	875 (3,444)	586 (2,651)	14,708 (53,045)
合 計					641,408 (605,668)

い 駐車場

() 内は前年度実績

	駐車台数 (台)	1 日あたり駐車台数 (台)
駐車場	309,413 (319,804)	847 (876)

(エ) 利用料金収入

収入区分		当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設 利用	大ホール	180,795,012	162,802,122	17,992,890
	中ホール	77,298,244	84,654,909	△7,356,665
	展示イベントホール	94,281,546	96,707,187	△2,425,641
	コンgresセンター	170,042,227	162,118,917	7,923,310
	研修交流センター	15,609,390	75,599,735	△59,990,345
	地下駐車場	119,831,919	125,066,046	△5,234,127
	屋外施設 (備品使用料のみ)	301,080	252,100	48,980
合 計		658,159,418	707,201,016	△49,041,598

運営総括

クリエート浜松は、ホールやギャラリーなど多様な機能を有し、音楽、ダンス、絵画、工作等の幅広い芸術文化活動を日常的に行うことができる施設として、市民に利用されています。

令和7年度は、当館の施設の運営方針である「市民の文化活動・生涯学習の場として地域と連携し地域に開かれた施設運営」を念頭に、地域とのつながりを大切にしながら、誰もが気楽に立ち寄り、学び、交流できる事業に取り組みました。

令和8年度においても、誰もが芸術と創造を楽しみ、地域とつながる場として、より多くの市民にとって魅力的な施設となることを目指します。

- ・ハママツクリエイターズフェス事業

浜松にゆかりのある若手クリエイター、市内で芸術を専攻する高校生、地元企業の三者による協働制作の場を創出し、世代間及び異業種間の交流促進を図りました。

- ・地域との連携・交流促進事業

地域に開かれた施設として、地域住民や地元自治会と連携し、クリエート夏まつり・クリエート冬まつりを開催しました。施設利用者や地域住民による創造活動や生涯学習の成果発表の場を提供するとともに、地域内の交流促進に寄与しました。

- ・クリエート・マルシェ

近隣商店と連携し、来館者に地域の商業や産業の魅力を紹介するとともに、施設内におけるくつろぎとにぎわいの創出に努めました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名		回数	参加者数 (人)	内 容
指定事業（7事業）				
ふれあい広場活性化事業 Creative Gala（クリエイティブ・ガラ）		38回	244	地域の文化活動活性化のため、ふれあい広場を無料提供する事業。
クリフェスワークショップ				
「4m×5m！巨大ぬり絵『お花』を完成させよう！」		5/17	30	7月に開催する「ハママツクリエイターズフェス」の事前ワークショップを開催した。ものづくりの楽しさに触れてもらおうと同時に、アートを通じて地域の風土や文化、産業などの多様な視点で気付きを与える創作体験の場を提供した。
「模様が浮かび上がる！？大きな布を染めてみよう！」		6/21	38	
「絵本の中に入れるかも？浜松らしいオリジナル天狗をかいてみよう！」		6/22	8	
ハママツクリエイターズフェス Vol. 2 ～みんなの手～		7/18～20	2,114	浜松ゆかりの若手アーティストによる作品展示やワークショップ、公開制作などを高校・大学や地元企業とも連携して行うほか、「クリエート・マルシェ」も同時に開催した。
浜松市民文化フェスティバル 「絵・写・書・茶・花」展		8/22～24	3,204	3階のギャラリーにおいて、地元の文化団体が絵画、写真、書道、お茶、生け花などの多彩な文化を披露した。また、作品をわかりやすく解説するアートコミュニケーションを行うことで、文化団体と来館者の交流の場を創出した。

事業名		回数	参加者数 (人)	内 容
	クリエートの夏まつり	8/24	3,500	地元住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販のほか、社会課題に対する啓発事業を行った。 共催：浜松市中部協働センター、浜松市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
	クリエートの冬まつり	1/24・25	10,000	地域住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題に対する啓発事業を行った。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
	第16回はままつグローバルフェア	2/8	4,110	地域住民や関係機関と連携し、地域の文化活動や施設の活性化を目的に開催。文化イベントや物販などを実施するほか、社会課題に対する啓発事業を行った。 共催：市中部協働センター、市人権啓発センター、(公財)浜松国際交流協会
自主事業 (3事業)				
	クリハマ楽校	24回	155	参加者自らが興味関心のある講座を企画開催する事業。参加者同士のコミュニケーションの場を創出。
	第28回リフレッシュ理科教室	6/21	57	静岡大学教授のレクチャーによる理科実験工作を開催した。 共催：(公社)応用物理学会
	クリエート・マルシェ	9/28	250	近隣の商店と連携して出店者を募り、「クリエート・マルシェ」を開催。来館者に地域の商店や産業を知ってもらう機会を提供するとともに、クリエート浜松のにぎわいを創出した。
その他の事業・機能 (3事業)				
	インターンシップ実習	8/23・24	2	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
	活動情報の収集・データベース化事業	通年	—	市民アーティストの活動をデータベース化し、活動者同士の連携を構築。
	文化情報発信事業	通年	—	当施設利用の同好会文化団体への取材と情報発信を実施。
合 計		13事業	23,712	

(イ) 施設稼働率等

()内は前年度実績

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
中部協働センター	講座室 (2室)	72.9% (64.2%)	694 (692)	506 (444)	13,783 (10,241)
	キッチン ルーム	39.1% (50.6%)	340 (342)	133 (173)	2,213 (3,105)
	会議室 (3室)	77.3% (74.5%)	1,041 (1,038)	805 (773)	16,508 (16,955)
	和室 (2室)	63.3% (50.7%)	346 (692)	219 (351)	3,336 (4,825)
文化コミュニティ センター	ホール	87.0% (83.2%)	338 (346)	294 (288)	46,252 (41,935)
	会議室 (2室)	61.2% (56.9%)	694 (692)	425 (394)	7,989 (7,720)
	スタジオ	89.9% (90.2%)	347 (346)	312 (312)	10,035 (9,553)
	ふれあい広場	97.7% (98.0%)	347 (346)	339 (339)	27,002 (27,923)
	アトリエ	86.5% (82.7%)	347 (346)	300 (286)	5,057 (3,549)
	ギャラリー (5室)	81.1% (78.1%)	1,735 (1,718)	1,407 (1,342)	173,769 (135,362)
	創造活動室	99.7% (100.0%)	347 (346)	346 (346)	15,831 (12,209)
合 計					321,775 (273,377)

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	54,424,630	50,875,700	3,548,930

運営総括

令和7年度は、大規模改修工事に伴う休館を経て、安定的な施設再開と文化事業の推進の両立を図る転換期の運営となりました。

6月までの工事期間中は、予約受付や館内整備をしながら再開に向けた準備を進め、7月のリニューアルオープン記念式典や記念イベントを契機として、刷新された施設・設備を活用した各種事業を展開し、浜北文化センターの再開を広く周知しました。

・施設リニューアル関連事業

地域出身の著名人や文化団体が出演したリニューアルオープン記念イベントのほか、地域住民や利用者を対象としたリニューアルツアーや、ホール舞台裏を公開するバックステージツアーを実施しました。これにより、施設への理解と親しみの醸成を図るとともに、新規利用者の獲得および利用促進につなげました。

・舞台芸術鑑賞・体験事業

舞台裏方体験講座、身体表現ワークショップ、SPAC 中高生鑑賞事業など、舞台芸術に関する体験・鑑賞機会の充実を図りました。次年度においては、これらの取り組みを基盤として事業内容のさらなる充実を図るとともに、次世代の感性と創造力の育成に取り組めます。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
受託事業 (1事業)				
	リニューアルオープン記念式典及び記念イベント	7/6	500	式典のほか講演会や演奏、トークイベントなどにより、大規模改修工事の完了とリニューアルオープンを広く周知した。
指定事業 (9事業)				
	浜北文化センターリニューアルツアー	6/30 7/1・2	111	近隣にお住まいの方々を対象に、館内を巡りながら、施設改修前後の違いを中心に紹介した。
	夏休みバックステージツアー	8/11	14	親子で改修後のホール舞台裏を探検し、文化施設について興味関心を深めていただくツアーを実施した。
	地域事業への協力「キブネ写真展」	8/15～31	-	地域の今昔を伝える写真を地域にお住まいの方々からご提供いただき、エントランスや通路などに展示した。
	舞台裏方体験講座	8/21・22	37	舞台技術スタッフから高校生へホールの舞台設備を紹介しつつ、音響、照明などの基礎知識を講義した。
	身体表現ワークショップ 「すばっくおやこ小学校 in 浜松」	8/30・31	74	親も子も同じ「小学生」となり、SPAC 俳優が先生となって手を動かしたり話し合ったりして授業を行った。 主催：静岡県、浜松市文化振興財団 共催：静岡県舞台芸術センターSPAC
	浜松市民バンドフェスティバル	1/25	700	浜松市民バンド協議会との共催により、市内の市民吹奏楽団 8 団体が一堂に会し、市民による多彩な吹奏楽活動を示した。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	ゆるやかコンサート	3/30	103	子ども連れのお母さんやその家族などを主な対象として、生演奏を楽しむ機会を提供した。
	文化活動伴走支援事業	通年	-	地域文化コミュニティの活動や会員募集を告知するコーナーを館内に設置し、また、文化活動に関する相談を受け付けた。
	はまきたライブスクエア	3/28	30	多目的室を会場に、管楽器とピアノによる生演奏を楽しんでいただくミニコンサート「春の音めぐり」を開催した。
自主事業 (3 事業)				
	SPAC 中高生鑑賞事業	2/4・5・6・9・10	1,710	県西部の中高生を対象とした演劇の鑑賞事業を行った。 共催：静岡県舞台芸術センターSPAC
	大型公演の招致	通年	-	大型公演のプロモーションを手掛ける地方メディア社等に対する招致活動を行った。
	施設利用付随サービスの提供	通年	-	チケットの受託販売、コピーや FAX サービスのほか、施設利用の利便性に寄与する事業者の紹介などを行った。
合 計		13 事業	3,279	

(イ) 施設稼働率等

(前年度は休館中のため実績なし)

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
本館	大ホール	66.2% (- %)	222 (-)	147 (-)	53,579 (-)
	小ホール	64.3% (- %)	235 (-)	151 (-)	20,219 (-)
	楽屋 1～6 号	41.8% (- %)	1,388 (-)	580 (-)	6,162 (-)
	リハーサル室	95.7% (- %)	256 (-)	245 (-)	6,172 (-)
	第 1 練習室	82.6% (- %)	258 (-)	213 (-)	7,277 (-)
	第 2 練習室	85.3% (- %)	258 (-)	220 (-)	2,263 (-)
	第 3 練習室	82.6% (- %)	259 (-)	214 (-)	2,281 (-)
	多目的室	67.7% (- %)	254 (-)	172 (-)	9,142 (-)
	大会議室	61.7% (- %)	253 (-)	156 (-)	17,271 (-)

		利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
	第1会議室	79.4% (- %)	257 (-)	204 (-)	5,369 (-)
	第2会議室	76.3% (- %)	257 (-)	196 (-)	4,353 (-)
	第3会議室	45.9% (- %)	255 (-)	117 (-)	1,922 (-)
	第4会議室	66.0% (- %)	256 (-)	169 (-)	2,404 (-)
	第5会議室	55.5% (- %)	256 (-)	142 (-)	1,776 (-)
	第1和室	59.0% (- %)	256 (-)	151 (-)	1,458 (-)
	文化活動室	80.8% (- %)	255 (-)	206 (-)	2,961 (-)
北 館	第6会議室	41.0% (- %)	256 (-)	105 (-)	1,408 (-)
	第7会議室	72.0% (- %)	257 (-)	185 (-)	2,330 (-)
	第2和室	26.2% (- %)	256 (-)	67 (-)	385 (-)
	談話室	72.3% (- %)	256 (-)	185 (-)	2,411 (-)
	料理工房	12.5% (- %)	256 (-)	32 (-)	336 (-)
	音楽室	94.1% (- %)	256 (-)	241 (-)	2,117 (-)
	第1創作工房	3.9% (- %)	255 (-)	10 (-)	55 (-)
	第2創作工房	21.1% (- %)	256 (-)	54 (-)	773 (-)
	コミュニティ活動室	89.5% (- %)	256 (-)	229 (-)	4,431 (-)
合 計					158,855 (-)

※令和7年度は、4月から6月まで休館

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	45,634,550	-	-

※令和6年度は休館

運営総括

浜松市北部「オクハマ」における文化振興のための施設である浜松市天竜壬生ホールでは、子どもを対象とした舞台芸術体験ワークショップや一般向け文芸講座を通年で実施し、地域の子どもから大人までが継続的に文化に触れる機会を提供しました。また、地域の文化団体や学校と連携し、多様な公演・展示会を開催するなど、地域文化の活性化に取り組みました。

令和7年度のホール稼働率は70%を超えました。今後も施設利用の一層の促進に努めるとともに、物価高騰に伴う支出増への対応として、運営経費の適正化を進めてまいります。

- ・MIBU ワークショップ（ダンス/ミュージカル）

天竜壬生ホールの主軸事業である本ワークショップでは、主に浜松市北部在住の小学校1年生から中学校3年生までの子ども130名を対象に、ダンスおよびミュージカルのレッスンを年間を通して実施しました。表現力の向上を目的とした指導を行い、年末にはホール舞台で成果発表会を開催するなど、次代の文化の担い手の育成に取り組みました。

- ・地域との連携事業の継続

天竜浜名湖鉄道沿線地域の学校に参加を募る「MIBU 吹奏楽フェスティバル」や、地域で活動する文化団体との共催事業「みぶ遠州の和太鼓」「みぶ絵手紙展」等を継続的に実施し、地域に根差した文化活動の継承と広がりを支えました。

- ・アウトリーチ事業「浜松市天竜区ふれあいコンサート」

本事業では、コンサートホールのない中山間地区に一流の演奏家を派遣し、移動や遠出が困難な方にも質の高い音楽鑑賞の機会を提供しました。

(イ) 施設付帯事業の実施

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
指定事業（文化振興事業 2 事業）				
壬生の響き Vol.6 佐藤元洋ピアノリサイタル	9/12	189	地域に縁のあるアーティストによる、ホールの特性を活かしたコンサート。第12回浜松国際ピアノコンクール出場者で掛川市出身のピアニスト、佐藤元洋が出演。	
	MIBU New Year Concert 2026	1/12	233	地域の市民楽団と著名演奏家が共演する市民参加型コンサート。 出演：山本愛子（ソプラノ）、天竜楽友吹奏楽団
指定事業（芸術普及事業 7 事業）				
MIBU ワークショップ ダンスクラス	52 回	2,504	専門講師による、小学生から中学生までを対象としたダンス及びミュージカルの通年指導。事業を通じて、芸術・文化活動による地域児童の育成促進と地域文化の振興を図った。在籍人数は、ダンス90名、ミュージカル40名。 アクトシティで開催された5/4「アクトでやрмаいか」、10/19「バレエ・ダンスの祭典」等にも出演。	
MIBU ワークショップ ミュージカルクラス	27 回	877		
第9回みぶアーティストステージ	6/29	220		

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
みぶ遠州の和太鼓 2025 夏編		8/10	336	静岡県西部の和太鼓団体によるライブコンサート。
第7回 MIBU 吹奏楽フェスティバル		11/2	275	天竜浜名湖鉄道沿線地域の高校吹奏楽8校によるコンサート。出演校による学校PRブースも同時開催。
MIBU ワークショップ発表公演 Vol. 23				
	ダンス公演	12/20	463	MIBU ワークショップダンスクラス受講生による年に一度の成果発表会。1部:学年ステージ 2部:「The Game Quest World」
	ミュージカル公演	12/21	258	MIBU ワークショップミュージカルクラス受講生による年に一度の成果発表会。1部:「最後のプレゼント」 2部:「HEAVEN or HELL」
みぶ絵手紙展		3/6～15	1,000	天竜区内や近隣で活動する4つの地域団体との協働企画による絵手紙展覧会。最終日には体験教室を開催。
自主事業 (5事業)				
浜松文芸館出張講座 「おくのほそ道-その出会いと別れ-」 第四期、第五期		12回	309	浜松文芸館から講師を派遣し、人気のある講座を月1回、全12回の日程で開催。 講師:勝田敏勝
ステージ演奏体験		5/25 8/29～31 9/23 11/3	20 64 23 19	ホールステージを一般開放し演奏体験の機会を提供。非公開のため、持ち時間を練習・撮影など自由に活用できる。ホール空き日を活用。
育てよう!アマゴの里親募集				
	托卵講座	11/30	149	溪流の魚の卵を孵化させ稚魚に育てたところで二俣川へ放流。体験を通じて地域の自然環境の大切さを学んでいた。
	稚魚放流会	2/15	155	協力:天竜川漁業協同組合、川や湖をきれいにする市民会議 助成:公益信託しずぎんふるさと環境保全基金
魅力発信事業		通年	—	施設や地域の魅力や情報をInstagram等のSNSを使って発信。
チケット受託販売		通年	—	壬生ホール利用者の開催公演のチケット受託販売。
自主事業 (共催事業 1事業)				
2025年度 浜松市天竜区ふれあいコンサート (天竜区気田小学校)		10/26	140	一流演奏家による出張クラシックコンサート。 出演:鈴木裕子(二胡)、佐藤元洋(ピアノ) 共催:浜松市天竜区ふれあいコンサート実行委員会 助成:公益財団法人静岡県西部しんきん地域振興財団

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
協力事業 (1 事業)				
	第 21 回天竜芸術祭芸能発表会	10/26	—	天竜区内で活動する市民文化団体が実施する芸能祭の舞台運営を支援。
その他の事業 (2 事業)				
	職場体験受入	7/14～15	2	浜松市内高校生の就業体験受け入れ。
	インターンシップ実習	8/2・9・10・ 16 9/12	1	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
合 計		18 事業	7, 237	

(イ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	74. 3% (67. 6%)	237 (278)	176 (188)	25, 706 (28, 720)
リハーサル室	99. 1% (98. 8%)	320 (340)	317 (336)	11, 641 (13, 460)
会議室 (2 室)	75. 2% (78. 3%)	343 (336)	258 (263)	9, 977 (12, 027)
展示ギャラリー1・2	16. 5% (16. 8%)	689 (674)	114 (113)	15, 628 (15, 629)
その他 (楽屋、音楽練習室、ホワイエ、 ホール舞台、野外ステージ)				4, 254 (4, 237)
合 計				67, 206 (74, 073)

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	9, 067, 600	9, 284, 330	△216, 730

運営総括

浜松市市民音楽ホールでは、昨年度にひきつづき次世代の音楽文化の担い手となる人材育成と市民の音楽文化活動の促進を運営の基本方針とし、令和 7 年度においても地域や市民文化団体と連携し、多様な事業を展開しました。

・次世代人材育成事業

学校部活動の地域展開を見据え、これまでの小学校から高校までの吹奏楽に加え、新たにリコーダー部門を設けました。また、次世代交流事業等の実施により、学生のみならず指導者間のネットワークの拡充を図りました。

・市民の音楽文化活動促進事業

2 年ぶりの開催となる地域鑑賞教室「オーケストラの夜明け」を実施し、周辺地域への還元を図りました。また、幼児・高齢者・障がいのある方を含め、誰もが楽しめる「マジックハートコンサート」を、地域の演奏家や音楽団体、NPO 法人等と協働で開催しました。

・ミュージックフェスティバル事業

施設の活性化を目的とした本事業では、地域住民や学校、地元商店と連携し、演奏会や文化活動発表、地元産品のマルシェを開催するなど、地域に開かれた施設運営を推進しました。

・ネーミングライツパートナーとの連携

ネーミングライツパートナーであるサーラコーポレーションの助成事業や、施設利用校と都田地域周辺企業の社会見学・校外学習マッチングの取り組み、浜松市吹奏楽連盟の記念事業「バンドスピリット」や「遠山詠一メモリアルコンサート」を共催し、学校・企業・地域の連携事業を展開しました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
指定事業（次世代の音楽文化の担い手となる人材の育成 3 事業）			
浜松ジュニアプラス育成事業 [小学生]	20 回	—	小学生有志による合同吹奏楽バンド育成事業。生涯学習活動として、次世代の育成に市民が関わる学びと教える循環を実践する。団員56名。 共催：NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松中学生吹奏楽団育成事業 [中学生]	7 回	—	浜松市内中学生による合同吹奏楽バンドの育成を通じて初等教育から次のステップである発展的な育成まで橋渡しの機能を担う。団員220名。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会
浜松ユース吹奏楽団育成事業 [中高生]	14 回	—	市民音楽ホール開館に合わせて結成された市内の中学から高校世代の吹奏楽バンド育成事業。団員200名。 共催：浜松市吹奏楽連盟、NPO 法人浜松生涯学習音楽協議会
指定事業（市民の音楽文化活動の促進 12 事業）			
アイディアチャレンジ 都田文化力向上事業 浜松交響楽団オーケストラ鑑賞教室 「オーケストラの夜明け」	6/1	900	都田中学校学区内 3 校の生徒と新都田地区の住民に向けたオーケストラ鑑賞教室。自治会、観光団体、周辺企業の支援を受け開催した。浜松交響楽団との共催事業。

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
浜松中学生吹奏楽団育成事業若手指導者 交流事業バレットコンサート	7/5	1,071	サーラ音楽ホールを拠点に活動する浜松中学生吹奏楽団は、4組に分かれて演奏活動を実施。また、指導者で構成されたスペシャルバンド「ディレクターズバンド浜松」との合同合奏を実施した。
マジックハートコンサート	8/16 10/11 2/21 3/7	64 80 50 110	多目的室やホールを利用し、障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを開催した。 共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
アイディアチャレンジ トップコンサートグランプリ記念事業 聖星高等学校吹奏楽部 オータムコンサート 2025 in サーラ	11/3	1,400	令和6年度のトップコンサートグランプリを記念して開催。 浜松市を超え、全国の吹奏楽部の憧れになっているバンドの演奏は多くの来場者に感動を与えた。
アイディアチャレンジ 上阿多古・下阿多古・熊小学校 リモート鑑賞教室 (企業協賛)	11/19	3校 60名	サーラ音楽ホールと上阿多古小学校の2会場をつなげ、合同の鑑賞教室を開催。中継機能を活用することで相互コミュニケーションを図り、ホールまで出掛ける機会の少ない地域の児童にもホールに親しんでもらう機会と、プロの演奏会による音楽に触れる機会を提供。 協力：アンサンブル・ミュージック浜松
校外学習マッチング (企業協賛)	11/19	3校 24名	会場／株式会社システック 「浜松市小学校音楽科研究発表会」出演校の校外学習として、「都田アソシエイツ」に加盟する企業の工場見学等をマッチング。
マジックハート クリスマスコンサート 2025	12/21	500	「マジックハートコンサート」の規模を拡大し、ホールを利用した障がいのある人や子育て世代を主な対象としたコンサートを実施。健常者、障がい者がともに楽しめるコンサートとして開催。共催：認定NPO法人魅惑的倶楽部
浜松ユース吹奏楽団 第4回定期演奏会	1/18	800	サーラ音楽ホールを拠点に活動する中高生の有志バンド、ユース吹奏楽団の第4回定期演奏会。毎年団員数も増え、200人を超える質・数ともに圧巻のステージを提供した。
浜松ジュニアプラス 第5回定期演奏会	3/1	500	練習の成果を披露する演奏会を開催。ゲストにオーケストラアンサンブル青い風を招聘して保護者、地元住民を中心に集客を行い、本格的なコンサート形式で開催。
サポーターズクラブ	通年	—	当館を拠点に活動する文化団体及び個人（130名）を人材データベースに登録してバンク化し、市域のアウトリーチ等に活用。
情報発信掲示板 コミュニケーションスクエア	通年	—	浜松市内の文化団体や個人が活動を自由に発信できるよう、館内掲示スペースの活用及びホームページの整備を行う。

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
	エントランスロビー活用事業	通年	—	エントランスロビーに市内芸術団体の作品を展示。
自主事業 (2 事業)				
	サーラ音楽ホール 「ミュージックフェスティバル」 (企業協賛・地域連携事業)	11/2	2,000	地域住民や企業と連携し、地域及び施設の活性化を目的とした文化活動の発表や地元産品の物販などを実施。 多目的室では、新都市自治会連合会による「アート展示」を同時開催。
	次世代育成交流事業 「新しい音楽の力」 (企業協賛)	1/31	900	サーラ音楽ホールを拠点に活動する浜松ジュニアプラス・浜松中学生吹奏楽団・浜松ユース吹奏楽団を中心に若手バンドから、世代・組織を超えた育成交流事業。
特別協力事業 (2 事業)				
	バンドスピリット 2025 サーラ杯	5/25	1,500	浜松市吹奏楽連盟主催のコンクール。企画段階から関わり特別協力事業として開催。中学 10 校、高校 6 校が参加した。
	遠山詠一先生メモリアルコンサート	8/31	1,000	長年浜松市・日本の吹奏楽界を牽引してきた、故遠山詠一先生を偲ぶコンサート。浜松市の新たな吹奏楽の拠点であるサーラ音楽ホールで数多くのバンドによって盛大に開催された。
その他の事業 (1 事業)				
	インターンシップ実習	8/30～ 31	2	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れ。
合 計		20 事業	10,961	

(イ) 施設稼働率等

() 内は前年度末実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
ホール	64.8% (65.1%)	324 (321)	210 (209)	94,854 (78,256)
多目的室 1 号室	93.4% (95.5%)	334 (337)	312 (322)	21,533 (17,842)
多目的室 2 号室	86.9% (90.1%)	335 (332)	291 (299)	18,797 (16,401)
多目的室 3 号室	73.0% (75.7%)	333 (334)	243 (253)	12,139 (9,675)
合 計				147,323 (122,174)

(6) 観覧施設を活用した資源の調査、収集、保存、展示による芸術文化の普及発展

ア 浜松市楽器博物館

運営総括

開館 30 周年を迎えた令和 7 年度は、休館前の 11 月末までの約 8 か月間において来館者数 71,504 人を記録し、9 月には来館者 250 万人達成記念式典を実施しました。

特別展「尺八 SHAKUHACHI ～竹がつなぐ和のひびき～」では、尺八の歴史や種類、世界的な広がりを紹介するとともに、浜松に由緒ある普大寺に関するエピソードにも触れ、日本を代表する伝統楽器である尺八の魅力を発信しました。

本館は、アクトシティ浜松改修に伴い令和 7 年 12 月 1 日から令和 8 年 7 月 10 日まで休館しています。休館期間中は、所蔵資料のデジタルアーカイブ化及び整理を進めるとともに、常設展示のレイアウト見直しや施設設備の一部更新を実施しました。あわせて、移動博物館の参加校拡大など、アウトリーチ活動の充実にも取り組みました。

令和 7 年度も、国内唯一の公立楽器博物館として、調査研究成果を展示や国際会議等を通じて国内外へ発信するとともに、教育機関や企業と連携し、地域における音楽文化の振興及び研究の推進に努めました。

・特別展「尺八 SHAKUHACHI ～竹がつなぐ和のひびき～」

当館所蔵の江戸時代の貴重な「地無し尺八」をはじめ、一節切(ひとよぎり/尺八の前身との由来)等を展示するとともに、制作工房の様子を映像やパネルで紹介しました。あわせて、世界的な尺八の演奏活動の広がりを紹介するとともに、日本を代表する尺八奏者などを招いてレクチャーコンサート、イブニングサロンコンサートを企画しました。

・国産初期電子楽器の修復完了記念イベント

戦後日本の電子楽器黎明期を象徴する国産初期電子楽器「ドンカマチック DA-20」と「エレクトーン D-1」の修復完了記念特別プログラムを、元「カシオペア」のキーボーディスト向谷実さんを迎え実施しました。

・休館中の所蔵資料の整理及び修繕作業

休館期間中は、所蔵資料の整理・デジタルアーカイブ化に加え、展示室（1 階アジア・国産洋楽器エリア、地下 1 階アメリカ・アフリカ・オセアニアエリア等）の展示内容の一部見直しを行いました。また、自動演奏ピアノやガムランセット等の大規模修繕も実施しました。

・令和 8 年度の開館に向けた取り組み

令和 8 年 7 月 11 日の開館に向けて、特別展「ジャワとバリ～多様な楽器がつむぐインドネシアの心～」の開催準備に令和 7 年度中から着手しました。また、館内の観覧動線の見直しなど、より快適な鑑賞環境の整備を進めました。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
特別展・企画展・常設展・ミニ展示 (4 事業)				
企画展 「海をわたった楽器たち 多彩な文化の地 ラテンアメリカの旅」		4/1～5/13 (1/11～)	※12,516	他地域から伝わりラテンアメリカで発達した楽器を中心に展示し、その移動や普及の背景となった歴史、社会、風土、文化などを紹介した。
特別展 「尺八 SHAKUHACHI ～竹がつなぐ和のひびき～」		7/12～11/30	※46,928	かつて浜松に存在した普大寺との繋がりから、尺八の歴史や種類のほか、世界中に愛好者が存在するエピソードなど、尺八の今も紹介し、魅力を再発信した。
常設展の運営・整備		通年	-	楽器展示室、体験ルームの管理運営及び展示替えを行った。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
ミニ展示				
	どうする楽器素材の危機と保全 ～鶴殿のヨシ原から～	4/1～11/30	※71,504	絶滅の危機に瀕している葦の産地の現状と取り組みを解説した。
	琵琶はどこからやってきた？ ～楽器の東西伝播～	4/1～6/24	※21,918	古代ペルシアの楽器がどのように伝播して琵琶へ変化したかを解説した。
	巳(み)んなへび蛇(だ)もんで	4/1～11/30	※71,504	2025年干支の巳にちなんだ楽器等を展示した。
	浜松まつりのラッパ	5/1～13	※6,210	浜松まつりのラッパについて映像を交えて紹介した。
	風が奏でる楽器	6/26～9/23	※29,690	風によって本体や弦を震わせ、音を出す仕組みの楽器を紹介。
	ラッパになった貝のセカイ	8/8～11/30	※38,597	巻貝からラッパに変化した世界の貝たちを紹介した。
	アイヌ民族の暮らしと芸能	10/9～11/30	※16,410	アイヌ民族独特の芸能を楽器や模型、映像を交えて紹介した。
	リードオルガンのメダル	11/8～30	※7,424	リードオルガンに刻印されているメダルに焦点をあて、その内容を紹介した。
ガイドツアー・ギャラリートーク・ミュージアムサロン・シリーズ音楽の広場 (4事業)				
	展示室ガイドツアー	毎日曜日	※1,400	展示室の主な楽器について、テーマに沿って職員がわかりやすく解説するガイドツアー。
	ギャラリートーク	毎日	※11,635	一つの楽器に焦点をあて、実演などを交えて行う職員による解説を行った。(原則1日4回)
	ミュージアムサロン	12回	※1,249	ゲスト演奏家による展示室でのミニレクチャーとミニコンサートを行った。
	シリーズ音楽の広場	29回	※2,385	地域の音楽家や職員等による展示室ミニコンサートを行った。
演奏会 (7事業)				
	イヴニングサロンコンサート 「スペイン大航海時代の楽器 ビウエラとその音楽」	4/26	56	16世紀のスペイン王宮で愛された弦楽器でありながら、当時のものはほとんど現存しない「ビウエラ」の復元楽器による演奏と解説を行った。 演奏：水戸茂雄
	レクチャーコンサート ～目を閉じてきいてみて～ 「時を超えてつながる尺八のおと」	7/12	114	普大寺に焦点をあて、尺八の歴史や名曲を地無し尺八を使って紹介した。 出演：志村禅保、藤原道山【完売】
	イヴニングサロンコンサート 「双子のセルパン —Les Serpents Gémeaux—」	8/3	59	16世紀のフランスに登場した木製金管楽器。ヘビ年の2025年、仏語でヘビを意味する「セルパン」によるコンサートを行った。出演：橋本晋哉(セルパン)、佐藤采香(セルパン)、藤田朗子(ピアノ)
	レクチャーコンサート 流派・伝統の枠を超え、新たな領域へ！ 「The Shakuhachi 5」	9/14	78	流派・伝統の枠を超えた、若手実力派5名によるコンサートを行った。 出演：The Shakuhachi 5 (小濱明人・川村葵山・黒田鈴尊・小湊昭尚・田嶋謙一)

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	イヴニングサロンコンサート 「人間国宝 野村峰山 ～尺八でつなぐ竹のころ～」	10/18	92	人間国宝野村峰山が4種類の尺八を使用し、尺八の魅力を存分に伝えた。 出演：野村峰山、友常毘山（助演）
	出張コンサート in 楽器博物館 これも笛の仲間？ ～ストリートオルガンの世界～	11/8	※150	当館所有のストリートオルガンを使用して音の仕組みを紹介した。 出演：浜名湖オルゴールミュージアム職員
	出張コンサート in 浜名湖オルゴールミュージアム 竹が奏でるクリスマス ～みんなで鳴らすアンクルンの響き～	12/14	131	当館所有のアンクルンを持ち込み、音の仕組みを紹介するほか、演奏体験も行った。 出演：浜松市楽器博物館職員
講座・ワークショップ (5 事業)				
	講座 「身近に発見！ ラテン音楽ヒストリー」	5/2	※143	楽器の実演や楽曲紹介を通してサルサを中心としたラテン音楽の歴史を解説する講座を行った。 出演：岡本郁生、櫛田満
	ワークショップ 「一節切を作ってみよう」	7/26	14	尺八の一種「一節切（ひとよぎり）」を製作するワークショップを行った。 講師：相良保之、マット・ギラン
	ワークショップ 「キャップ尺八『キャップチくん』 を吹いてみよう！」	8/24	※115	ペットボトルキャップを使い尺八のように吹いてみるワークショップを行った。音の出やすいラムネケースも併用した。 講師：田中隆文（邦楽ジャーナル代表・編集長）
	楽器づくりワークショップ 「とり笛を作ろう！」	7/21・9/23	※29	ボール紙とストローでとり笛を作って音を出すワークショップを行った。 講師：ボランティア、職員
	ワークショップ 「琵琶を弾いてみよう ～薩摩琵琶～」	10/26	※135	職員の説明後、浜松で活動する演奏家による琵琶の演奏体験ワークショップを行った。 講師：北村鸞城
市内小学校移動博物館 (8 事業)				
	飯田小学校	5/19～23	596	浜松市内小学校への移動博物館。お話と体験を織り交ぜて、クラスごとに世界の楽器文化を紹介した。休館時には、今までより回数を増やして実施した。
	中瀬小学校	6/2～5	780	
	与進北小学校	6/16～20	469	
	芳川北小学校	7/14～18	587	
	西気賀小学校	10/22	47	
	金指小学校	10/28	68	
	相生小学校	12/15～19	507	
	庄内小学校	1/13～15	336	

事業名	開催日	参加者数 (人)	内 容
楽器整理・調査・情報発信 (8 事業)			
CD・図録等の販売	通年	—	所蔵楽器音源のCD、所蔵楽器の図録、オリジナルグッズを販売した。
所蔵資料の調査・整理・修復	通年	—	所蔵資料の調査、整理、修理、修復、展示整備。令和7年度は自動演奏ピアノの修復を中心に実施した。
広報誌「楽器博物館だより」発行	通年	—	令和7年度は1回のみ発行 (No. 144)。市内小中学校・公共施設等に配布した。
公式ホームページサイトの管理運営	通年	—	一般情報とアーカイブス、最新情報などを発信した。
国際会議への参加と発表	11/8～16	—	国際博物館会議 (ICOM) トバイ大会へ参加し、研究成果の発表を行った。また、多様なコミュニティに積極的に参加し、世界に関する知識を収集した。
SNS 等を使った情報発信	通年	—	Facebook、Instagram、X (旧Twitter) を使って情報発信。過去の特別展、企画展のLINE スタンプを販売した。
他施設での出張展示	通年	—	新東名サービスエリア・ネオパーサ浜松 SA (下り) にて当館所蔵楽器を展示した。
バーチャル楽器博物館の展開	通年	—	オンラインで館内を見学できる。スマホやパソコンから楽器博物館を楽しむことが可能となった。 累計ページビュー数 54,523 回。 累計ユーザー数 33,393 人。(令和8年3月末現在)
他博物館・教育研究機関等との連携 (14 事業) ★中止を除く			
静岡文化芸術大学との連携事業	通年	—	大学生の若者目線で若い世代に向けた楽器博物館の魅力を発信するプロジェクト。当館の SNS を活用し、それぞれの利点や特性を分析し、学生たちが取材からコンテンツの制作までを行った。
スペシャルギャラリートーク 「楽器の可能性を考える Vol.2 ～世界と繋がるヴァイオリン～」	5/9	※35	ヴァイオリンを切り口に、楽器の展示方法や教育普及活動など、博物館における楽器の可能性について、演奏を交え対談形式で行った。 出演：酒井絵美、石井紗和子 (職員) 共催：東京藝術大学未来創造継承センター
国際博物館の日 スペシャルギャラリートーク 「音楽のまちで考える ミュージアムのこれから」	5/18	※40	「国際博物館の日」に合わせ、博物館の役割、楽器を扱う博物館ならではの可能性について対談した。 出演：村野正景 (静岡大学情報学部准教授)、館長 司会：石井紗和子 (職員) 共催：浜松市内博物館 5 館連携
こども三味線教室への 三味線教材貸出し	7/4～8/11	56	こども三味線教室への三味線教材貸出しを行った。 協力先：楽三会 松永鉄久 会場：クリエート浜松
スクールプロジェクト 「異文化理解・音楽交流プログラム」への 楽器貸出し	7/11	60	ヤマハスクールプロジェクト (アウトリーチ授業) へのインド楽器貸出しを行った。 協力先：ヤマハ (株) 会場：浜松市立城北小学校

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	【開催中止】 ハマルおんがくプロジェクト 「ららら♪リズムくらぶ」への協力	7/19 ★	-	外国人集住地域での児童向け楽器博物館エクスカーション等の対応予定だったが中止となった。 連携先：静岡文化芸術大学南田研究室 (連携先の都合により開催中止)
	まちなかワクワクアカデミー2025 「キャップ尺八『キャップバチくん』 を吹いてみよう！」への協力	8/2	45	まちなかワクワクアカデミー2025「キャップバチくんを吹いてみよう！」の運営協力を行った。 主催：浜松まちなかにぎわい協議会 講師：田中隆文（邦楽ジャーナル代表・編集長）
	静岡大学情報学部「生涯学習概論」 集中講義	9/19	8	大学生を対象に、楽器博物館内の見学とレクチャーを通して「生涯学習概論」を学べる講義を行った。 講師：館長、増田博行（職員）
	向谷実と体感する、 蘇った初期国産電子楽器の奇跡 (記者発表)	10/3	60	コルグ社製「ドンカマチック」修復完了発表を、キーボーディスト向谷実氏のデモンストレーションを交えて行った。 連携：株式会社コルグ、ヤマハ株式会社 演奏：向谷実（元カシオペア）
	物理シミュレーション・システム 搭載 電子ピアノ試作機発表（記者発表）	10/16	60	ヤマハ社製「物理シミュレーション・システム搭載電子ピアノ試作機」発表を、解説と演奏を交えて行った。 連携：ヤマハ株式会社 演奏：伊藤春菜（職員）
	科学館との協力事業	1/25	24	ワークショップ「青色LEDを使った電子楽器（PB トーン）を作って演奏しよう」を共同で開催した。製作を浜松科学館職員、演奏を当館職員が担当した。
	第16回 はままつグローバルフェアへの 参加	2/8	301	浜松市最大の国際交流・国際理解・国際協力のイベント。体験用楽器の展示、過去演奏会映像の紹介、ギャラリートークなどで楽器博物館の魅力を紹介した。
	国立民族学博物館特別展への 楽器貸出し	2/18～3/31 (～6/10)	-	みんなく特別展「シルクロードの商人語り」への楽器貸出協力（敦煌壁画復元楽器数点）を行った。 主催：国立民族学博物館
	音楽文化・芸能調査	通年	-	浜松市文化財課、静岡大学情報学部と連携し、市内又は日本の伝承民俗芸能を調査。令和7年度は西浦田楽取材した。
研修受け入れ（5事業）				
	中学生・高校生職場体験学習	7～11月	23	浜松市の中学生、高校生の職場体験を受け入れ。
	インターンシップ実習受入	8/23～24 9/20～21	2 4	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れ。（静岡文化芸術大学）

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	教職員・市職員研修	8/26～27 10/8	1 105	教職員及び職員等の研修を受け入れ。 (天竜高校教職員、浜松市職員)
	中学校との共同授業	9/4	26	世界の楽器を通しての国際理解教育を提供した。 (聖隷クリストファー中学校)
	学芸員実習受入	9/8～13	6	学芸員資格認定の必須科目である実習を、全国の大学より公募選考にて受け入れ。
合 計		55 事業	344, 732	(観覧者数と重複する人数 (※の事業) 340, 017)

★中止事業を除く

(イ) 観覧者数

() 内は前年度実績

観覧者数計 (人)	内 訳 (人)			
	大人	高校生	小中学生	幼児
71, 504 (86, 245)	56, 406 (68, 700)	2, 558 (2, 992)	10, 091 (11, 686)	2, 449 (2, 867)

※令和7年度は、12月から3月まで休館

(ウ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
観覧料	36, 626, 400	42, 834, 080	△6, 207, 680

※令和7年度は、12月から3月まで休館

運営総括

令和7年度は、前年度に引き続き「生成AIが急速に発達している今こそ、自ら書くこと・読むことを大切にす」というコンセプトのもと、幅広い世代の文芸活動を支援しました。

展示事業・講座講演事業・浜松市民文芸事業を3つの柱として計44事業を実施し、より多くの市民の文芸・文学に触れる機会の創出を図り、市民の文芸活動の促進に努めました。

- ・展示事業
鷹野つぎ、賀茂真淵をはじめとした浜松の歌人や、没後100年を迎えた松島十湖など、浜松ゆかりの文芸人をわかりやすく紹介しました。また、浜松市民に馴染みの深い『浜松百撰』を顕彰する展示も開催し、前年度に続き1.1万人を超える来場者を記録しました。
- ・講座講演事業
参加希望の多かった朗読会の開催回数を増やすなど、ニーズに柔軟に対応しました。
- ・浜松市民文芸事業
若年層の応募促進に積極的に取り組みました。その結果、高校生が応募の約20%を占め、詩・川柳部門においては市民文芸賞を獲得しました。市民文芸賞表彰式後の交流会については、受賞者に限らず応募者全体に広く参加を呼びかけ、文芸活動を通じた交流の促進を図りました。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
展示事業（4 事業）				
特別収蔵展 「浜松ゆかりの女性作家 鷹野つぎ展 ーその生涯と作品ー」		4/1～6/15 (3/1～)	※2, 313	島崎藤村に認められ、大正から昭和にかけて活躍した浜松生まれの女性作家・鷹野つぎの生涯や作品・業績を紹介した。
特別収蔵展 「1957～2024 年 浜松百撰の遺したもの」		7/1～ 10/13	※4, 541	2024年3月で休刊となったタウン誌『浜松百撰』。1957年創刊から67年、通算796号を振り返り、特色ある記事や情報を紹介した。
特別収蔵展 「浜松ゆかりの歌人たち…賀茂真淵、 柳本城西、山田震太郎、村木道彦」		11/1～2/8	※3, 410	近世、近現代から浜松ゆかりの4歌人を紹介した。歌集や代表作の展示のほか、地元の歌碑や学校での短歌顕彰活動などにもふれた。
特別収蔵展 「俳人 松島十湖没後 100 年記念 旧派の十湖・新派の加藤雪腸二人展」		3/1～31 (～6/14)	※1, 050	没後100年となる松島十湖と、彼と交流のあった加藤雪腸に焦点をあてた。二人の作品や文化人との交流を紹介した。
講座（14 事業）				
『源氏物語』入門講座		6 回	264	『源氏物語』のあらすじをまとめた『源氏物語忍草』の若菜上・下から柏木の巻までをよんだ。 講師：松平和久
くずし字解読入門講座		6 回	236	江戸時代に西洋から入ってきた『イソップ物語』。当時の板本（版本）の読解に挑戦した。 講師：勝田敏勝

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
	川柳入門講座	5 回	68	川柳の知識や作り方、鑑賞の仕方を学んだ。 (初心者向け) 講師：今田久帆
	短歌入門講座	5 回	59	短歌の知識や作り方、鑑賞の仕方を学んだ。 (初心者向け) 講師：柴田典昭
	俳句入門講座 Ⅰ春・Ⅱ初夏・Ⅲ秋・Ⅳ初冬	16 回 (各 4 回)	202	俳句の知識や作り方、鑑賞の仕方を学んだ。(初心者向け) Ⅰ春：4 月 講師：村松二本 Ⅱ初夏：6 月 講師：天野薫 Ⅲ秋：9 月 講師：坪井孝之 Ⅳ初冬：11～12 月 講師：渥美絹代
	『平家物語』講座	6 回	148	『平家物語』の巻十二～灌頂巻をよんだ。 講師：大石嘉美
	『おくのほそ道』講座	6 回	275	日本海沿いを歩いた芭蕉がのこした数々の名句をじっくりと鑑賞した。 講師：勝田敏勝
	朗読入門講座	6 回	104	短詩や随筆をよみながら、声に出すこと、表現することの楽しさを味わった。 講師：堤腰和余
	朗読書講座	6 回	109	1 冊の本を精読し、その世界を朗読で表現した。 講師：堤腰和余
	篆刻初級講座	6 回	147	文字を学習し、好きな言葉（四字熟語等）の印を作成した。 講師：下石哲幸
	日本の近・現代詩をたのしむ	5 回	38	岩波文庫別冊『声でたのしむ美しい日本の詩』を用い、鑑賞した。 講師：折金紀男 朗読：余川千津子
	『万葉集』講座	6 回	191	巻七 旋頭歌・巻十 四季の相聞歌抄・巻十四 東歌勘国歌、相聞往来歌抄の歌を中心によんだ。 講師：松平和久
	『和泉式部日記』講座Ⅲ	6 回	208	孤独を分かち合い、折を心得た一組の男女の知性と感性の応酬をよんだ。 講師：松平和久
	出張講座 「おくのほそ道-その出会いと別れ-」 (第4期・第5期)	12 回 (各 6 回)	—	浜松文芸館で実施している企画の中から、好評をいただいている講座を出張して実施した。 講師：勝田敏勝 会場：天竜壬生ホール
イベント事業（2 事業）				
	朗読会 澤田ふじ子を読む 『宗旦狐』ほか	5/18	42	朗読を通して、澤田ふじ子作品を味わった。 講師：堤腰和余
	朗読会 小泉八雲を読む	10/19・ 11/7	92	朗読を通して、小泉八雲作品を味わった。参加希望多数のため、2回開催した。 講師：堤腰和余
講演会事業（2 事業）				
	史実と小説の間	5/10	30	伊豆文学賞「鋳物師七郎左衛門」の著者・松本茂氏が執筆の舞台裏を語った。 講師：松本茂
	季語を輝かせるコツ	11/15	47	俳句の季語を輝かせるコツについての講演を行った。 講師：高柳克弘

事業名		開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
子ども向け事業 (5事業)				
	夏休み絵本づくり講座	7/26	12	小学3年生から6年生対象。自分で作ったお話でおもしろ絵本を作成した。 講師：井口恭子
	楽しいお話づくり講座	8/3	16	小学1年生から3年生対象。自分の力で楽しいお話を作ること挑戦した。 講師：井口恭子
	夏休み読書感想文講座	8/4・8	53	小学4年生から6年生対象。読書感想文を実際書きながら、自分の感動を相手に伝える書き方を学んだ。 講師：林容子
	冬のこども講座 お気に入りの本をポップカードにして紹介しよう	12/6	5	小学3年生から6年生対象。自分が大好きな本をイラストや文章でカードに書き、皆で紹介しあった。 講師：林容子
	冬のこども講座 とび出すクリスマスカードを作ろう	12/13・20	9	クリスマスカード作りに挑戦し、お話に親しむ機会を提供した。 【12/13】小学1年生から3年生対象 【12/20】小学3年生から6年生対象 講師：井口恭子
浜松市民文芸事業 (3事業)				
	第71集 作品募集・選考・編集・発行	9～3月	—	市民の文芸作品発表の場として、小説、評論、詩、短歌など全9部門で文芸作品を市民公募・審査選考し、優秀作品を浜松市民文芸として編集・発行した。
	浜松市民文芸賞表彰式	3/14	29	浜松市民文芸賞に選ばれた市民を対象に、表彰式および選者との懇談会を開催した。
	浜松市民文芸販売・電子出版	通年	—	浜松市民文芸を販売した。あわせてホームページ上に電子書籍として公開した。
資料の調査研究・保存・整理 (1事業)				
	資料収集・研究・整理事業	通年	—	資料収集対象者を中心とした資料の収集・研究・整理分類及び寄贈品の整理等を行った。
教育機関との連携 (2事業)				
	入館者や学習見学者への案内・説明	通年	—	入館者への展示室案内や、市内小学校等の施設見学の受け入れ。
	インターンシップ実習	8/21・22	2	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップを受け入れ。
クリエート浜松とのコラボ事業 (2事業)				
	フォト俳句・短歌展	1/24・25	—	クリエートの冬まつりの一環として、小中高生が民間団体による写真展の写真を見て作った俳句・短歌を展示した。
	浜松文芸館インフォメーションコーナーの運営	通年	—	クリエート浜松1階に浜松文芸館を紹介するコーナーを設置し、浜松文芸館の存在と事業を広く周知。

事業名	開催日 回数	参加者数 (人)	内 容
その他事業 (9 事業)			
文芸館だより「いざない」発行	通年	—	浜松文芸館の各講座や展示、浜松と関係のある文人、文学を紹介した。No. 84・85・86・87を発行した。
浜松市文化振興財団自主出版 『風紋のアンソロジー』Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 販売	通年	—	浜松ゆかりの作家らのエッセイや選句集などを収録した文庫本を販売した。(500 円/冊)
『裾野の「虹」が結んだ交誼 曾宮一念、藤枝静男宛書簡』販売	通年	—	曾宮一念と藤枝静男の生い立ちから出会いまでと二人の書簡を時系列で紹介した書籍を販売した。(2,037 円/冊)
出版物・地域伝統品の委託販売	通年	—	講座講師著書や、やらまいかブランド「遠州綿紬」使用品等の委託販売を行った。
出前講座 「尾張町の生んだ女流作家 鷹野つぎ」	5/26・6/2	36	尾張町公会堂にて、鷹野つぎの生涯や作品についての講演を行った。
出前講座「鷹野つぎ作品紹介」	7/3	20	八幡中学校にて、夙合戦などの鷹野つぎの作品紹介を行った。
出前講座「遠州文学散歩」	7/19	15	珈楽庵にて、鷹野つぎをはじめとした浜松の文学者について講演を行った。
出前講座「清水みのるについて」	11/8	30	クリエート浜松にて、浜松の作詞家清水みのるを紹介する講演を行った。主催：浜松プラチナ倶楽部
出前講座「浜松文学散歩 清水みのる」	3/17	18	尾張町公会堂にて、浜松の作詞家清水みのるを紹介する講演を行った。
合 計	44 事業	13,819	(観覧者数と重複する人数 (※の事業) 11,314)

※別表 第71集「浜松市民文芸」応募状況

() 内は前年度実績

募集部門	応募数 (人)
小説	12 (11)
児童文学	7 (5)
評論	3 (5)
随筆	21 (23)
詩	30 (23)
短歌	93 (94)
定型俳句	165 (168)
自由律俳句	47 (50)
川柳	154 (78)
合 計	532 (457)

(イ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人)
講座室	58.8% (50.0%)	347 (346)	204 (173)	2,513 (2,291)

(ウ) 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)		
		大人 (高齢者含む)	高校生	小中学生・未就学児
296 (297)	11,314 (11,561)	11,114 (11,407)	12 (23)	188 (131)

(エ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	394,770	322,330	72,440

運営総括

浜松市・市民ミュージアム浜北は、浜北文化センター内に設置された浜松市博物館の分館として、浜北地域の歴史資料やくらしに関する文化財を展示する施設です。

令和7年度は、大規模改修工事を経て常設展示の内容を再構成し、より分かりやすい展示環境へリニューアルしました。これにあわせて、講座やギャラリートークの実施に加え、展示に関連した体験コーナーや企画展を展開し、幅広い層の来館促進に努めました。

・体験型事業

「機織り」「浜北の風車づくり」などの体験コーナーを実施し、展示内容への理解促進を図りました。また、他館や地域団体等と連携した企画展を開催し、地域資源の掘り起こしと発信の強化に取り組みました。

・物販事業

リニューアルを機とした新たな取り組みとして、展示資料の鹿形埴輪「見返りの鹿」をモチーフとしたオリジナルグッズの制作・販売を開始しました。本資料は国立博物館への貸出実績もあり、人気を博した経緯があることから、来館者サービスの向上と資料の魅力発信に資する取り組みとなっています。

(ア) 施設付帯事業の実施

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
指定事業 (1事業)				
	「機織り・浜北の風車づくり」 体験コーナー	通年	770	ミュージアムの展示にちなんだ機織りや浜北の風車づくりの体験を提供した。
自主事業 (3事業)				
	ミュージアム講座 「天竜川扇状地の開発」× ギャラリートーク	8/10	46	浜松市博物館職員が浜北地域の遺跡群の発掘調査から見える当時のくらしについて講座を行い、また、ミュージアムの歴史資料館を解説した。
	販売事業	11/12 販売開始	-	展示資料の鹿形埴輪「見返りの鹿」をモチーフとするクリアファイルや一筆箋などのグッズを製作、販売した。
	企画展			
	見返りの鹿と 浜名区のはにわ	7/6～9/28	4,233	休館中に東京国立博物館等で展示され人気を博した「見返りの鹿」埴輪をはじめ、浜名区出土の主な埴輪を展示した。
	伝統の浜北凧	1/5～(5/21)	3,018	浜北凧の会と共催し、浜北凧の特徴から節句凧まつり、飛龍まつりの様子などを実物の凧や豊富な写真で紹介した。
	劇団たんぽぽ創設者 小百合葉子	3/14～(4/12)	912	劇団たんぽぽと共催し、浜松文芸館と連携して小百合葉子の生涯と劇団たんぽぽの歩みを振り返る展示を行った。
合 計		4事業	8,979	※事業の一部は観覧者数と重複

(イ) 観覧者数

(前年度は休館中のため実績なし)

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)	
		大人 (高校生以上)	中学生以下
226	10,203	8,285	1,918
(-)	(-)	(-)	(-)

※令和7年度は、4月から6月まで休館

運営総括

浜松市秋野不矩美術館は、天竜区二俣町出身の日本画家・秋野不矩の画業と功績、藤森照信設計による美術館建築の魅力を、地域のみならず全国および次世代へ広く発信する多様な事業を実施しています。

令和7年度は、特別展及び所蔵品展を貫くテーマを「まなざし」として展開し、来館者の秋野不矩作品と近代日本画への理解を深める取り組みを行いました。また、令和10年度に開催予定の秋野不矩生誕120年記念展に向け、巡回予定館2館との調整・準備に着手しました。令和8年度以降も引き続き準備を進め、秋野不矩に関する調査研究に取り組みます。

・展示事業

令和6年度に引き続き、ギャラリートークの内容充実と実施回数の拡大を図りました。特別展においては、他館学芸員による解説のほか、当館学芸員および館長によるギャラリートークを実施するとともに、特別展「風景へのまなざし」では初の対話型鑑賞会を企画しました。

また、所蔵品展においてもギャラリートークを実施し、作家の生涯や表現への探求、対象へのまなざしについて、多角的かつ分かりやすく紹介しました。

・展覧会関連事業

小・中学校の長期休業期間と会期が重なる所蔵品展では、鑑賞ワークシートを作成し児童・生徒の鑑賞体験の充実を図りました。また、夏季には日本画の画材を用いた小学生向けワークショップを開催し、日本画に親しむ機会を提供しました。

・その他事業

令和6年度に引き続き、展示空間で美術と音楽が響きあう人気イベントとして定着した「ミュージアムコンサート」を開催しました。また、売店事業では、秋野不矩が手掛けた絵本の取扱いを開始するとともに、新規グッズの制作を行い、来館者サービスの向上に努めました。

(7) 施設付帯事業の実施

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
展示事業 (8 事業)				
所蔵品展 「創造の眼Ⅰ ～心施～」	しんせ	4/1～20	※856	心施とは他人の傷も自分の傷の痛みとして感じとるまなざしを指す。形なきもの(心や思い)をどのように見える形で表現してきたのか、不矩の創造の源に迫った。
所蔵品展 「創造の眼Ⅱ ～眼施～」	げんせ	4/26～5/25	※1,976	眼施とは相手や対象を思いやる心で見つめるまなざしのことを指す。作品からにじみ出る温かさや優しさの奥にある、表現せずにはいられない作家の思いに迫った。
所蔵品展 「創造の眼Ⅲ ～慧眼～」	えげん	8/5～31	※2,248	慧眼とは真理を見抜くまなざしであると共に、一切衆生の理を見通す知恵のまなざしである。不矩が本当に描きたかったもの・ことから見えてくる大切にしたい価値に迫った。
所蔵品展 「創造の眼Ⅳ ～天眼～」	てんげん	11/22～1/12	※2,470	天眼とは外見や肩書といった表面的なものから価値を見出すのではなく、眼で見える以上のことまで見ようとするまなざしを指す。不矩作品から天眼の視点に迫った。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	所蔵品展 「創造の眼Ⅴ ～慈眼 ^{じげん} ～」	3/17～31	※972	慈眼とは慈しみのこもった慈悲のまなざしを指す。慈愛に溢れた不矩表現の源流をエピソードや随筆資料と絡め、より深い表現理解・作家理解に迫った。
	特別展 「京都 大原に生きた画仙人 小松均 展 ―自然をまなざす」	6/14～7/27 開会式 6/13	※3,490	小松均は、目に見える自然の形だけでなく、その背後にある世界や精神までも描きつくそうと水墨表現で独自の画境を拓いた。また、人間や自然を慈しむまなざしで新たな日本画表現を追究した秋野不矩の本画・素描 20 点を展示した。
	特別展 「風景へのまなざし」	9/13～11/9 開会式 9/12	※7,777	不矩が生きた 20 世紀は、日本画がめざましい変革を遂げ、今では巨匠と呼ばれる作家たちが独自の作風を築き上げた時代であった。本展では(株)ヤマタネの所蔵品から風景画の優品と不矩の《雨雲》と《シヴァ寺院Ⅰ》を紹介した。
	京都市立芸術大学芸術資料館所蔵 「京都の日本画 ―京都画壇の俊英たち―」	1/24～3/8 開会式 1/23	※4,503	明治 13 年に京都で日本初の公立美術学校が設立され、現在の京都市立芸術大学まで数多くの俊英たちが輩出してきた。本展では明治から現代に至る京都の日本画の流れを一望し、不矩作品と共にその魅力を紹介した。
展覧会関連事業・教育普及事業 (15 事業)				
	所蔵品展「創造の眼Ⅱ ～眼施 ^{げんせ} ～」 館長によるギャラリートーク	5/18	※17	「国際博物館の日」の記念イベントとして館長によるギャラリートーク開催。先着 30 名にポストカードを進呈した。
	特別展「京都 大原に生きた画仙人 小松均 展 ―自然をまなざす」 スペシャルギャラリートーク	6/14	※33	山形美術館副館長兼学芸課長・岡部信幸氏による作品解説を実施した。
	特別展「京都 大原に生きた画仙人 小松均 展 ―自然をまなざす」 学芸員によるギャラリートーク	6/29・7/12	※51	当館学芸員による一般観覧者向けの作品解説を実施した。
	ワークショップ 「日本画の画材・水干絵具を使って うちわを作ろう」	8/9	24	小学生対象。児童たちが日本画の画材・水干絵具を溶き、うちわに好きな絵を表現した。 講師：渡邊貴博(会場：天竜壬生ホール)
	静岡県民の日 館長によるギャラリートーク	8/21	※14	「県民の日」の無料開放日に合わせ、館長による所蔵品展解説を行った。
	特別展「風景へのまなざし」 ギャラリートーク	9/13	※40	本展学術協力者の野口玲一氏による一般観覧者向けの作品解説を行った。
	特別展「風景へのまなざし」 担当学芸員によるおしゃべり鑑賞会	10/4	※11	当館学芸員と参加者が会話をしながら作品を読み解いていく、対話型鑑賞会を実施した。
	特別展 京都市立芸術大学芸術資料館所蔵 「京都の日本画 ―京都画壇の俊英たち―」 特別ギャラリートーク	1/24	※31	京都市立芸術大学芸術資料館学芸員の松井菜摘氏による作品解説を実施した。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	特別展 京都市立芸術大学芸術資料館所蔵 「京都の日本画 ー京都画壇の俊英たちー」 ギャラリートーク	2/14	※32	当館学芸員による一般観覧者向けの作品解説を実施した。
	特別展 京都市立芸術大学芸術資料館所蔵 「京都の日本画 ー京都画壇の俊英たちー」 館長トーク	2/28	※35	当館館長による一般観覧者向けの作品解説を実施した。
	団体向け見学前ガイド	通年	※1,068 (52 団体)	秋野不矩の画業や人物像、当館建築をより知っていただくための事前説明及び作品解説を実施した。
	講演会事業			
	出張講座 みをつくし大学講座 「秋野不矩の人生と作品」	7/18	73	当館学芸員が、秋野不矩の作品と生涯について紹介する講座を実施した。 会場：みをつくし文化センター
	掛川市教育センター 教職員研修図工・美術講座 「風景画・人物画講座」	8/1	14	当館館長が、掛川市内小学校教職員を対象に、水彩画の指導方法について講話及び実技指導を実施。 会場：掛川市立大渕小学校
	教育プログラム受入	通年	※131 (6 校)	校外学習などの教育プログラム等の受け入れ。
	インターンシップ実習受入	9/17～20	2	県内・近隣県の大学生を中心としたインターンシップの受け入れ。
	中堅教諭等資質向上研修受入	8/6～9	4	浜松市及び近隣市の教職員研修の受け入れ。(特別支援学校教員1名、小学校教員3名)
	地域連携・広報・その他事業 (7 事業)			
	ミュージアムコンサート	8/30	※124	第2 展示室を会場に、秋野不矩の絵画を鑑賞しながら、チェロの響きに包まれる特別なひとときを提供した。音楽ファンなど新規層の来館を促した。 11:00/13:00/15:00 の3 回実施(各回 20 分程度) 演奏：朝倉百香
	浜松市美術館「市展」への協力	年1 回	—	浜松市美術館「市展」の作品受付・返却業務を行った。
	市民ギャラリーの貸出及び利用者支援	通年	9 団体	2 階企画展示室を市民ギャラリーとして貸し出し、市民の創作活動の発表の場として活用いただいた。また、展覧会広報を含む開催支援を行った。(特別展開催期間を除いて実施)
	地域との協働連携事業	通年	—	エヴァンゲリオンスタンプラリーへの協力や、二俣未来まちづくり協議会に参加し、地域活性への協力や活性化に向けた協議を行った。

事業名		開催日	参加者数 (人)	内 容
	公式ホームページサイトの 管理運営及び SNS による情報発信	通年	—	公式 HP サイトの管理運営及び X や Instagram 等を 活用した情報発信。
	メディア取材・雑誌等の記事掲載	通年	—	新聞、ラジオ、テレビ、美術関係月刊誌等への情報 提供。
	売店事業	通年	—	図録・ハガキ・グッズ等の販売及び在庫管理。
調査研究・保存・整理 (2 事業)				
	作品および資料の研究・整理・収集	通年	—	秋野不矩に関連する作品や資料の研究・整理及び浜 松市が主管する資料収集への協力。
	秋野不矩生誕 120 年記念事業の 準備・調整	通年	—	2028 年の秋野不矩生誕 120 年記念展覧会開催に向 け、巡回館 2 館との学芸員会議を開始。また、一般 社団法人秋野不矩の会(不矩ご遺族)との月 1 回程度 の Zoom ミーティングを実施。
合 計		32 事業	25,996	(観覧者数と重複する人数 25,879 (※の事業))

(イ) 観覧者数

() 内は前年度実績

開館日数 (日)	観覧者数計 (人)	内 訳 (人)			
		大人 (高齢者・障害者他含む)	高校生	小中学生	未就学児
247 (240)	24,292 (24,619)	22,520 (21,884)	630 (937)	871 (1,334)	271 (464)

(ウ) 施設稼働率等

() 内は前年度実績

	利用率	延べ利用可能数 (日)	延べ利用実数 (日)	入場者数 (人) ギャラリーの入場
市民ギャラリー※	54.3% (69.7%)	105 (99)	57 (69)	3,827 (4,968)

※特別展開催中は施設貸出なし

(エ) 利用料金収入

収入区分	当年度 (円)	前年度 (円)	差額 (円)
施設利用	376,200	—	—
観覧料	11,732,430	—	—

※令和 7 年度より利用料金制度導入

5 理事会及び評議員会等決議事項

(1) 評議員会議決事項

議決番号	開催年月日	件 名
第1号議案	R7. 6. 26	令和6年度事業報告及び会計報告の承認について
第2号議案	R7. 6. 26	評議員の選任について
第3号議案	R8. 2. 20	評議員の選任について（決議省略）

(2) 理事会議決事項

議決番号	開催年月日	件 名
第1号議案	R7. 6. 10	令和6年度事業報告及び会計報告の承認について
第2号議案	R7. 6. 10	令和7年度定時評議員会の招集及び提出議案について
第3号議案	R7. 9. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団職員就業規程の一部改正について
第4号議案	R7. 9. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第5号議案	R7. 9. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第6号議案	R7. 9. 19	公益財団法人浜松市文化振興財団職員等の育児休業等に関する規程の一部改正について
第7号議案	R7. 11. 26	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について（決議省略）
第8号議案	R7. 11. 26	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第9号議案	R7. 11. 26	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について（決議省略）
第10号議案	R7. 12. 16	令和8年度事業計画の一部策定について
第11号議案	R8. 2. 13	令和7年度臨時評議員会招集について（決議省略）
第12号議案	R8. 3. 16	公益財団法人浜松市文化振興財団職員給与規程の一部改正について
第13号議案	R8. 3. 16	公益財団法人浜松市文化振興財団契約職員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第14号議案	R8. 3. 16	公益財団法人浜松市文化振興財団嘱託員の給与、勤務時間その他の勤務条件に関する規程の一部改正について
第15号議案	R8. 3. 16	公益財団法人浜松市文化振興財団職員等の育児休業等に関する規程の一部改正について
第16号議案	R8. 3. 16	公益財団法人浜松市文化振興財団職員等の介護休業等に関する規程の一部改正について

議決番号	開催年月日	件 名
第 17 号議案	R8. 3. 16	公益財団法人浜松市文化振興財団公益充実資金等取扱規程（旧特定費用準備資金等取扱規程）の全部改正について
第 18 号議案	R8. 3. 16	役員等賠償責任保険の契約加入について
第 19 号議案	R8. 3. 16	令和 8 年度事業計画の策定について
第 20 号議案	R8. 3. 16	令和 8 年度収支予算の策定について
第 21 号議案	R8. 3. 16	公益充実資金の積立について

(3) 経営会議開催概況

ア 実施概況

17 回開催（原則月 2 回）

イ 出席者

役 員 理事長、副理事長、常務理事

事務局 事務局長、文化事業課長、経営企画課長、議題に関係する館長・担当課長・専門監

6 役員に関する事項

(1) 役員名簿（令和8年3月31日現在）

役 職	氏 名
代表理事	花井 和徳
副理事長	山崎 貴裕
常務理事	寺田 聖子
理 事	内村 幸夫
理 事	斉藤 薫
理 事	佐々木 右子
理 事	梶山 久美
理 事	平井 正大
理 事	松下 育蔵
監 事	鈴木 玲美
監 事	半場 浩恭

役 職	氏 名
評 議 員	石川 善太郎
評 議 員	河合 健太郎
評 議 員	杉山 岳弘
評 議 員	谷川 真美
評 議 員	中田 卓也
評 議 員	野秋 愛美
評 議 員	氷室 敦志
評 議 員	福田 尚
評 議 員	丸山 晃司
評 議 員	山名 裕
評 議 員	横田 みどり

(2) 役員の異動

(7) 就任

役職名	氏 名	就任日
評 議 員	石川 善太郎	R7. 6. 27
評 議 員	中田 卓也	R7. 6. 27
評 議 員	野秋 愛美	R7. 6. 27

役職名	氏 名	就任日
評 議 員	福田 尚	R7. 6. 27
評 議 員	氷室 敦志	R8. 2. 20

(1) 退任または辞任

役職名	氏 名	退任・辞任日
理 事	松下 育蔵	R8. 3. 31

役職名	氏 名	退任・辞任日
評 議 員	伊藤 充宏	R7. 6. 26
評 議 員	加藤 祐輔	R7. 6. 26
評 議 員	松木 温	R7. 6. 26
評 議 員	加藤 晃嗣	R8. 1. 31

7 職員に関する事項

(単位：人)

所属	R8. 3. 31 職員数計	R8. 3. 31 職員数内訳				備考 R7. 3. 31 職員数
		市派遣 職員	正規職員	契約職員	嘱託員	
事務局長	1	1	0	0	0	1
文化事業課	22	0	14	3	5	23
アクトシティ浜松	14	0	4	2	8	18
クリエート浜松	6	0	3	0	3	9
浜松市浜北文化センター 浜松市・市民ミュージアム浜北	6	0	4	0	2	3
浜松市天竜壬生ホール	4	0	2	1	1	4
浜松市市民音楽ホール	6	0	3	0	3	6
浜松市楽器博物館	9	0	4	0	5	10
浜松文芸館	3	0	0	0	3	3
浜松市秋野不矩美術館	3	0	1	0	2	4
経営企画課	10	0	8	2	0	10
計	84	1	43	8	32	91

休業中の職員を含む

令和 7 年 度

決 算 の 状 況

1 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	1,007,020	1,597,825	△ 590,805
普通預金	489,697,019	455,022,907	34,674,112
定期預金	100,000,000	100,000,000	0
未収金	152,857,226	132,288,424	20,568,802
未収利息	2,849,768	1,848,753	1,001,015
前払金	1,825,800	7,998,442	△ 6,172,642
立替金	189,970	169,543	20,427
棚卸資産	5,715,463	4,617,812	1,097,651
貸倒引当金	△ 15,286	△ 26,458	11,172
流動資産合計	754,126,980	703,517,248	50,609,732
2 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	1,790,000,000	1,790,000,000	0
定期預金	349,768,767	349,768,767	0
基本財産合計	2,139,768,767	2,139,768,767	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	353,075,941	321,027,298	32,048,643
事業基金	183,144,305	183,144,305	0
広域文化基金	8,119,134	8,119,134	0
公益充実資金	370,811,730	304,444,189	66,367,541
仲道子供音楽事業資産	5,653,483	7,205,153	△ 1,551,670
オークラ助成事業資産	600,000	750,027	△ 150,027
運用財産積立資産	400,000,000	400,000,000	0
特定資産合計	1,321,404,593	1,224,690,106	96,714,487
(3) その他固定資産			
建物附属設備	2,424,450	2,424,450	0
減価償却累計額	△ 2,424,449	△ 2,424,449	0
什器備品	801,675	801,675	0
減価償却累計額	△ 801,674	△ 801,674	0
ソフトウェア	1,056,000	1,056,000	0
減価償却累計額	△ 316,800	△ 105,600	△ 211,200
リース資産	60,381,090	60,381,090	0
減価償却累計額	△ 36,479,707	△ 24,403,489	△ 12,076,218
その他固定資産合計	24,640,585	36,928,003	△ 12,287,418
固定資産合計	3,485,813,945	3,401,386,876	84,427,069
資産合計	4,239,940,925	4,104,904,124	135,036,801

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
Ⅱ 負債の部			
1 流動負債			
未払金	201,750,489	152,808,687	48,941,802
前受金	93,183,364	92,195,819	987,545
預り金	40,048,937	22,917,744	17,131,193
リース債務	12,227,993	12,080,595	147,398
賞与引当金	31,935,258	31,111,398	823,860
役員賞与引当金	541,200	492,000	49,200
流動負債合計	379,687,241	311,606,243	68,080,998
2 固定負債			
リース債務	12,042,338	24,270,331	△ 12,227,993
退職給付引当金	353,075,941	321,027,298	32,048,643
固定負債合計	365,118,279	345,297,629	19,820,650
負債合計	744,805,520	656,903,872	87,901,648
Ⅲ 正味財産の部			
1 指定正味財産			
事業基金	183,144,305	183,144,305	0
仲道子供音楽事業資産	5,653,483	7,205,153	△ 1,551,670
オークラ助成事業資産	600,000	750,027	△ 150,027
指定正味財産合計	189,397,788	191,099,485	△ 1,701,697
(うち特定資産への充当額)	(189,397,788)	(191,099,485)	(△ 1,701,697)
2 一般正味財産	3,305,737,617	3,256,900,767	48,836,850
(うち基本財産への充当額)	(2,139,768,767)	(2,139,768,767)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(778,930,864)	(712,563,323)	(66,367,541)
正味財産合計	3,495,135,405	3,448,000,252	47,135,153
負債及び正味財産合計	4,239,940,925	4,104,904,124	135,036,801

2 正味財産増減計算書

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,393,611	7,336,874	2,056,737
基本財産運用益計	9,393,611	7,336,874	2,056,737
② 特定資産運用益			
特定資産受取利息	4,776,264	1,592,711	3,183,553
特定資産運用益計	4,776,264	1,592,711	3,183,553
③ 事業収益			
入場料収益	55,253,505	79,709,190	△ 24,455,685
チケット手数料収益	4,031,736	4,993,356	△ 961,620
イベント関連収益	18,614,763	22,748,941	△ 4,134,178
協賛金・共催事業収益	8,787,305	52,304,059	△ 43,516,754
受取会費	10,393,600	10,993,700	△ 600,100
広告料収益	1,269,000	1,148,000	121,000
使用料収益	6,393,314	7,999,463	△ 1,606,149
手数料収益	14,135,567	14,285,055	△ 149,488
図書販売収益	80,800	107,400	△ 26,600
売上収益	4,457,282	8,510,393	△ 4,053,111
施設利用料金収益	731,525,688	680,635,925	50,889,763
観覧料収益	48,358,830	42,695,200	5,663,630
事業収益計	903,301,390	926,130,682	△ 22,829,292
④ 受取指定管理料等			
受取指定管理料	1,296,280,358	1,288,817,000	7,463,358
受取指定管理料等計	1,296,280,358	1,288,817,000	7,463,358
⑤ 受取受託金			
受取事業市受託金	175,593,028	112,501,694	63,091,334
受取受託金計	175,593,028	112,501,694	63,091,334
⑥ 受取補助金等			
受取国庫補助金	1,643,976	0	1,643,976
受取市補助金	11,430,831	10,390,572	1,040,259
受取民間補助金	300,000	289,802	10,198
受取補助金等計	13,374,807	10,680,374	2,694,433
⑦ 受取負担金			
受取事業市負担金	65,297,544	179,777,528	△ 114,479,984
受取負担金計	65,297,544	179,777,528	△ 114,479,984

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
⑧ 受取寄付金			
受取寄付金	1,160,000	1,535,000	△ 375,000
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,551,670	1,344,871	206,799
受取オークラ助成事業資産振替額	750,027	0	750,027
受取寄付金計	3,461,697	2,879,871	581,826
⑨ 雑収益			
受取利息	1,581,337	463,222	1,118,115
雑収益	1,771,931	1,609,887	162,044
雑収益計	3,353,268	2,073,109	1,280,159
経常収益計	2,474,831,967	2,531,789,843	△ 56,957,876
(2) 経常費用			
① 事業費			
役員報酬	3,995,885	3,753,083	242,802
給料手当	364,123,740	371,918,805	△ 7,795,065
臨時雇賃金	48,953,031	40,441,698	8,511,333
退職給付費用	31,012,348	26,081,550	4,930,798
福利厚生費	64,356,028	66,032,180	△ 1,676,152
交際費	53,965	47,661	6,304
会議費	121,909	109,551	12,358
懇談会費	213,000	5,657,631	△ 5,444,631
旅費交通費	12,792,495	39,353,995	△ 26,561,500
通信運搬費	8,629,867	13,394,681	△ 4,764,814
減価償却費	10,465,818	11,407,847	△ 942,029
消耗什器備品費	2,877,232	4,778,630	△ 1,901,398
消耗品費	31,592,223	28,959,583	2,632,640
修繕費	12,866,727	10,109,843	2,756,884
印刷製本費	22,061,717	28,754,565	△ 6,692,848
燃料費	260,792	273,159	△ 12,367
光熱水料費	50,734,112	55,762,366	△ 5,028,254
使用料賃借料	33,175,172	35,270,739	△ 2,095,567
保険料	3,637,830	3,659,770	△ 21,940
諸謝金	37,398,858	61,046,564	△ 23,647,706
租税公課	63,872,381	62,068,997	1,803,384
支払負担金	733,268,078	764,374,852	△ 31,106,774
支払助成金	4,606,755	10,615,111	△ 6,008,356
委託費	765,240,104	723,955,290	41,284,814
手数料	12,406,226	24,265,521	△ 11,859,295
広告料	9,952,151	13,748,184	△ 3,796,033
商品仕入	1,833,998	1,478,811	355,187
支払利息	320,262	446,123	△ 125,861
貸倒引当金繰入	0	11,776	△ 11,776
雑費	107,527	52,022	55,505
事業費計	2,330,930,231	2,407,830,588	△ 76,900,357

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
② 管理費			
役員報酬	3,410,923	3,224,055	186,868
給料手当	59,525,142	55,076,920	4,448,222
退職給付費用	3,879,395	3,030,108	849,287
福利厚生費	10,428,401	9,548,050	880,351
交際費	45,861	75,011	△ 29,150
会議費	10,890	5,200	5,690
旅費交通費	200,362	140,173	60,189
通信運搬費	246,468	228,200	18,268
減価償却費	1,821,600	1,515,144	306,456
消耗品費	102,785	95,762	7,023
印刷製本費	48,400	0	48,400
使用料賃借料	109,825	130,165	△ 20,340
保険料	741,340	733,280	8,060
諸謝金	65,000	185,000	△ 120,000
租税公課	1,003,019	963,453	39,566
支払負担金	402,100	465,900	△ 63,800
委託費	9,993,280	11,516,600	△ 1,523,320
手数料	2,449,632	1,802,770	646,862
広告料	44,000	0	44,000
支払利息	119,343	92,870	26,473
雑費	250,220	0	250,220
管理費計	94,897,986	88,828,661	6,069,325
経常費用計	2,425,828,217	2,496,659,249	△ 70,831,032
当期経常増減額	49,003,750	35,130,594	13,873,156
税引前当期一般正味財産増減額	49,003,750	35,130,594	13,873,156
法人税、住民税及び事業税	166,900	179,700	△ 12,800
当期一般正味財産増減額	48,836,850	34,950,894	13,885,956
一般正味財産期首残高	3,256,900,767	3,221,949,873	34,950,894
一般正味財産期末残高	3,305,737,617	3,256,900,767	48,836,850
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	479,736	3,832	475,904
② 受取寄付金			
受取寄付金	600,000	750,027	△ 150,027
③ 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 2,781,433	△ 1,348,703	△ 1,432,730
当期指定正味財産増減額	△ 1,701,697	△ 594,844	△ 1,106,853
指定正味財産期首残高	191,099,485	191,694,329	△ 594,844
指定正味財産期末残高	189,397,788	191,099,485	△ 1,701,697
Ⅲ 正味財産期末残高	3,495,135,405	3,448,000,252	47,135,153

正味財産増減計算書内訳表
令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
① 基本財産運用益					
基本財産受取利息	4,696,805	0	4,696,806	0	9,393,611
基本財産運用益計	4,696,805	0	4,696,806	0	9,393,611
② 特定資産運用益					
特定資産受取利息	2,049,024	2,011	2,725,229	0	4,776,264
特定資産運用益計	2,049,024	2,011	2,725,229	0	4,776,264
③ 事業収益					
入場料収益	55,253,505	0	0	0	55,253,505
チケット手数料収益	4,031,736	0	0	0	4,031,736
イベント関連収益	18,614,763	0	0	0	18,614,763
協賛金・共催事業収益	8,787,305	0	0	0	8,787,305
受取会費	10,393,600	0	0	0	10,393,600
広告料収益	1,269,000	0	0	0	1,269,000
使用料収益	6,293,169	100,145	0	0	6,393,314
手数料収益	13,969,242	166,325	0	0	14,135,567
図書販売収益	80,800	0	0	0	80,800
売上収益	4,457,282	0	0	0	4,457,282
施設利用料金収益	715,928,663	16,453,985	0	856,960	731,525,688
観覧料収益	48,358,830	0	0	0	48,358,830
事業収益計	887,437,895	16,720,455	0	856,960	903,301,390
④ 受取指定管理料等					
受取指定管理料	1,193,359,382	17,019,262	85,901,714	0	1,296,280,358
受取指定管理料等計	1,193,359,382	17,019,262	85,901,714	0	1,296,280,358
⑤ 受取受託金					
受取事業市受託金	175,593,028	0	0	0	175,593,028
受取受託金計	175,593,028	0	0	0	175,593,028
⑥ 受取補助金等					
受取国庫補助金	1,643,976	0	0	0	1,643,976
受取市補助金	11,185,619	245,212	0	0	11,430,831
受取民間補助金	300,000	0	0	0	300,000
受取補助金等計	13,129,595	245,212	0	0	13,374,807
⑦ 受取負担金					
受取事業市負担金	65,297,544	0	0	0	65,297,544
受取負担金計	65,297,544	0	0	0	65,297,544

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
⑧ 受取寄付金					
受取寄付金	1,160,000	0	0	0	1,160,000
受取仲道子供音楽事業資産振替額	1,551,670	0	0	0	1,551,670
受取オークラ助成事業資産振替額	750,027	0	0	0	750,027
受取寄付金計	3,461,697	0	0	0	3,461,697
⑨ 雑収益					
受取利息	0	0	1,581,337	0	1,581,337
雑収益	789,936	10,995	971,000	0	1,771,931
雑収益計	789,936	10,995	2,552,337	0	3,353,268
経常収益計	2,345,814,906	33,997,935	95,876,086	856,960	2,474,831,967
(2) 経常費用					
① 事業費					
役員報酬	3,962,586	33,299	0	0	3,995,885
給料手当	362,302,045	1,821,695	0	0	364,123,740
臨時雇賃金	48,757,929	195,102	0	0	48,953,031
退職給付費用	30,924,910	87,438	0	0	31,012,348
福利厚生費	64,033,853	322,175	0	0	64,356,028
交際費	53,965	0	0	0	53,965
会議費	121,909	0	0	0	121,909
懇談会費	213,000	0	0	0	213,000
旅費交通費	12,789,634	2,861	0	0	12,792,495
通信運搬費	8,576,519	53,348	0	0	8,629,867
減価償却費	10,209,453	256,365	0	0	10,465,818
消耗什器備品費	2,865,792	11,440	0	0	2,877,232
消耗品費	31,277,003	315,220	0	0	31,592,223
修繕費	12,766,519	100,208	0	0	12,866,727
印刷製本費	22,052,724	8,993	0	0	22,061,717
燃料費	256,212	4,580	0	0	260,792
光熱水料費	50,727,457	6,655	0	0	50,734,112
使用料賃借料	32,946,322	228,850	0	0	33,175,172
保険料	3,584,165	53,665	0	0	3,637,830
諸謝金	37,378,858	20,000	0	0	37,398,858
租税公課	63,157,606	714,775	0	0	63,872,381
支払負担金	715,357,528	17,910,550	0	0	733,268,078
支払助成金	4,606,755	0	0	0	4,606,755
委託費	755,350,557	9,889,547	0	0	765,240,104
手数料	12,361,454	44,772	0	0	12,406,226
広告料	9,952,151	0	0	0	9,952,151
商品仕入	1,833,998	0	0	0	1,833,998
支払利息	312,255	8,007	0	0	320,262
雑費	106,810	717	0	0	107,527
事業費計	2,298,839,969	32,090,262	0	0	2,330,930,231

(単位:円)

科目	公益目的 事業会計	収益事業 会計	法人会計	内部取引 等消去	合計
② 管理費					
役員報酬	0	0	3,410,923	0	3,410,923
給料手当	0	0	59,525,142	0	59,525,142
退職給付費用	0	0	3,879,395	0	3,879,395
福利厚生費	0	0	10,428,401	0	10,428,401
交際費	0	0	45,861	0	45,861
会議費	0	0	10,890	0	10,890
旅費交通費	0	0	200,362	0	200,362
通信運搬費	0	0	246,468	0	246,468
減価償却費	0	0	1,821,600	0	1,821,600
消耗品費	0	0	102,785	0	102,785
印刷製本費	0	0	48,400	0	48,400
使用料賃借料	0	0	966,785	856,960	109,825
保険料	0	0	741,340	0	741,340
諸謝金	0	0	65,000	0	65,000
租税公課	0	0	1,003,019	0	1,003,019
支払負担金	0	0	402,100	0	402,100
委託費	0	0	9,993,280	0	9,993,280
手数料	0	0	2,449,632	0	2,449,632
広告料	0	0	44,000	0	44,000
支払利息	0	0	119,343	0	119,343
雑費	0	0	250,220	0	250,220
管理費計	0	0	95,754,946	856,960	94,897,986
経常費用計	2,298,839,969	32,090,262	95,754,946	856,960	2,425,828,217
当期経常増減額	46,974,937	1,907,673	121,140	0	49,003,750
他会計振替前当期一般正味財産増減額	46,974,937	1,907,673	121,140	0	49,003,750
他会計振替額	294,700	△ 294,700	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	47,269,637	1,612,973	121,140	0	49,003,750
法人税、住民税及び事業税	0	166,900	0	0	166,900
当期一般正味財産増減額	47,269,637	1,446,073	121,140	0	48,836,850
一般正味財産期首残高	1,691,399,184	76,720,083	1,488,781,500	0	3,256,900,767
一般正味財産期末残高	1,738,668,821	78,166,156	1,488,902,640	0	3,305,737,617
II 指定正味財産増減の部					
① 特定資産運用益					
特定資産受取利息	479,736	0	0	0	479,736
② 受取寄付金					
受取寄付金	600,000	0	0	0	600,000
③ 一般正味財産への振替額					
一般正味財産への振替額	△ 2,781,433	0	0	0	△ 2,781,433
当期指定正味財産増減額	△ 1,701,697	0	0	0	△ 1,701,697
指定正味財産期首残高	191,099,485	0	0	0	191,099,485
指定正味財産期末残高	189,397,788	0	0	0	189,397,788
III 正味財産期末残高	1,928,066,609	78,166,156	1,488,902,640	0	3,495,135,405

3 財務諸表に対する注記

(1) 重要な会計方針

- ア 当法人の財務諸表は、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 令和2年5月15日改正 内閣府公益認定等委員会）に基づいて作成している。
- イ 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券……償却原価法（定額法）によっている。
- ウ 棚卸資産の評価基準及び評価方法
最終仕入原価法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下による簿価切下げの方法）によっている。
- エ 固定資産の減価償却の方法
- （ア）建物附属設備、什器備品及びソフトウェア
定額法によっている。
- （イ）リース資産
所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産
リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっている。
- オ 引当金の計上基準
- （ア）貸倒引当金
債権を適正に評価するため、一般債権については貸倒実績率による算定額を、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。
- （イ）賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- （ウ）役員賞与引当金
役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- （エ）退職給付引当金
期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- カ 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

(2) 会計方針の変更

該当なし。

(3) 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	1,790,000,000	0	0	1,790,000,000
定期預金	349,768,767	0	0	349,768,767
小計	2,139,768,767	0	0	2,139,768,767
特定資産				
退職給付引当資産	321,027,298	34,288,218	2,239,575	353,075,941
事業基金	183,144,305	0	0	183,144,305
広域文化基金	8,119,134	0	0	8,119,134
公益充実資金	304,444,189	105,000,000	38,632,459	370,811,730
ピアノコンクール積立資産	105,000,000	45,000,000	15,000,000	135,000,000
大型公演事業積立資産	131,000,000	40,000,000	15,000,000	156,000,000
文化芸術活動助成事業積立資産	22,523,317	0	2,080,289	20,443,028
退職給付引当率増対策積立資産	45,920,872	0	6,552,170	39,368,702
40周年記念事業積立資産	0	20,000,000	0	20,000,000
仲道子供音楽事業資産	7,205,153	0	1,551,670	5,653,483
オークラ助成事業資産	750,027	600,000	750,027	600,000
運用財産積立資産	400,000,000	0	0	400,000,000
小計	1,224,690,106	139,888,218	43,173,731	1,321,404,593
合計	3,364,458,873	139,888,218	43,173,731	3,461,173,360

※資産額に変更のない運用替えについては、当期増加額及び当期減少額から除外している。

(4) 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	1,790,000,000	—	(1,790,000,000)	—
定期預金	349,768,767	—	(349,768,767)	—
小計	2,139,768,767	—	(2,139,768,767)	—
特定資産				
退職給付引当資産	353,075,941	—	—	(353,075,941)
事業基金	183,144,305	(183,144,305)	—	—
広域文化基金	8,119,134	—	(8,119,134)	—
公益充実資金	370,811,730	—	(370,811,730)	—
ピアノコンクール積立資産	135,000,000	—	(135,000,000)	—
大型公演事業積立資産	156,000,000	—	(156,000,000)	—
文化芸術活動助成事業積立資産	20,443,028	—	(20,443,028)	—
退職給付引当率増対策積立資産	39,368,702	—	(39,368,702)	—
40周年記念事業積立資産	20,000,000	—	(20,000,000)	—
仲道子供音楽事業資産	5,653,483	(5,653,483)	—	—
オークラ助成事業資産	600,000	(600,000)	—	—
運用財産積立資産	400,000,000	—	(400,000,000)	—
小計	1,321,404,593	(189,397,788)	(778,930,864)	(353,075,941)
合計	3,461,173,360	(189,397,788)	(2,918,699,631)	(353,075,941)

(5) 担保に供している資産

該当なし。

(6) 保証債務等の偶発債務

該当なし。

(7) 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄			帳簿価額	時価	評価損益
地方債	静岡県	令和6年度第11回	100,000,000	93,030,000	△ 6,970,000
地方債	静岡県	平成29年度第8回	300,000,000	296,100,000	△ 3,900,000
地方債	静岡県	令和2年度第5回	300,000,000	279,510,000	△ 20,490,000
地方債	静岡県	令和6年度第6回	100,000,000	91,310,000	△ 8,690,000
地方債	静岡県	令和6年度第7回	100,000,000	89,880,000	△ 10,120,000
地方債	埼玉県	平成30年度第9回	400,000,000	383,000,000	△ 17,000,000
地方債	福井県	令和6年度第2回	100,000,000	91,170,000	△ 8,830,000
地方債	浜松市	令和4年度第1回	330,000,000	301,884,000	△ 28,116,000
地方債	浜松市	令和7年度第1回	160,000,000	156,512,000	△ 3,488,000
合計			1,890,000,000	1,782,396,000	△ 107,604,000

(8) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期 増加額	当期 減少額	当期末 残高	貸借対照 表上の記 載区分
文化芸術振興費補助金 (Innovate MUSEUM 事業)	文化庁	0	1,643,976	1,643,976	0	—
浜松市原油価格・物価高騰 等の影響に伴う指定管理者 交付金	浜松市	0	11,430,831	11,430,831	0	
サーラ音楽ホール活動 助成金	株式会社サーラ コーポレーション	0	200,000	200,000	0	
しずぎんふるさと環境保全 基金助成金	公益信託しずぎ んふるさと環境 保全基金	0	100,000	100,000	0	
合計		0	13,374,807	13,374,807	0	

(9) 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内容	金額
経常収益への振替額	
特定資産受取利息	479,736
受取仲道子供音楽事業資産	1,551,670
受取オークラ助成事業資産	750,027
合 計	2,781,433

(10) 関連当事者との取引の内容

該当なし。

(11) 重要な後発事象

該当なし。

(12) 退職給付関係

ア 採用している退職給付制度の概要

確定給付型の制度として、退職一時金制度を設けている。退職一時金制度は、簡便法により退職給付引当金及び退職給付費用を計算している。

イ 確定給付制度

(ア) 簡便法を適用した制度の、退職給付引当金の期首残高と期末残高の調整表

退職給付引当金の期首残高	321,027,298円
退職給付費用	34,288,218円
退職給付の支払額	△ 2,239,575円
退職給付引当金の期末残高	353,075,941円

(イ) 退職給付債務の期末残高と貸借対照表に計上された退職給付引当金の調整表

非積立型制度の退職給付債務	353,075,941円
貸借対照表に計上された負債	353,075,941円

退職給付引当金	353,075,941円
貸借対照表に計上された負債	353,075,941円

(ウ) 退職給付費用

簡便法で計算した退職給付費用	34,288,218円
----------------	-------------

(13) リース取引関係

ア ファイナンス・リース取引

(ア) 所有権移転外ファイナンス・リース取引

リース資産の内容

その他固定資産

- ・アクトシティ施設における施設予約システム・パソコン等機器（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるWi-Fiネットワーク機器（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるプロジェクター機器等（コンGRESセンター）（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるNAS等機器（什器備品）
- ・アクトシティ施設におけるプロジェクター機器等（中ホール等）（什器備品）
- ・会計システム機器（什器備品）

4 附属明細書

(1) 基本財産及び特定資産の明細

基本財産及び特定資産の明細は、財務諸表の注記に記載しているため内容の記載を省略する。

(2) 引当金の明細

(単位:円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	26,458	15,286	1	26,457	15,286
賞与引当金	31,111,398	31,935,258	31,111,398	0	31,935,258
役員賞与引当金	492,000	541,200	492,000	0	541,200
退職給付引当金	321,027,298	34,288,218	2,239,575	0	353,075,941

(注) 貸倒引当金の当期減少額のその他は、洗替による戻入額である。

5 財産目録

令和8年3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金として	1,007,020
	普通預金		運転資金として	489,697,019
		静岡銀行浜松中央支店		489,684,329
		浜松磐田信用金庫本店営業部		12,690
	定期預金	浜松磐田信用金庫本店営業部	運転資金として	100,000,000
	未収金	浜松市他	公益目的事業に係る未収事業収入他	152,857,226
	未収利息	静岡県債他	基本財産利息収入他	2,849,768
	前払金	松本印刷(株)他	公益目的事業に係る委託費他	1,825,800
	立替金	(株)リジカレ他	公益目的事業に係る楽器修繕立替	189,970
	棚卸資産	CD、書籍他	公益目的事業に係る商品	5,715,463
	貸倒引当金			△ 15,286
流動資産合計				754,126,980
(固定資産)	基本財産	投資有価証券	共用財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運営費の財源として使用している。	1,790,000,000
		静岡県債(平成29年度第8回)		300,000,000
		静岡県債(令和2年度第5回)		300,000,000
		静岡県債(令和6年度第6回)		100,000,000
		静岡県債(令和6年度第7回)		100,000,000
		埼玉県債(平成30年度第9回)		400,000,000
		福井県債(令和6年度第2回)		100,000,000
		浜松市債(令和4年度第1回)		330,000,000
		浜松市債(令和7年度第1回)		160,000,000
		定期預金	共用財産であり、運用益を公益目的事業及び管理運営費の財源として使用している。	349,768,767
特定資産		浜松磐田信用金庫本店営業部		768,767
		浜松磐田信用金庫本店営業部		337,000,000
		静岡銀行浜松中央支店		12,000,000
			基本財産計	2,139,768,767
		退職給付引当資産	職員に対する退職金の支払いに備えた財産	353,075,941
		事業基金	寄附により受け入れた資産で、寄附者の定めた用途に従い使用している財産	183,144,305
		広域文化基金	寄附により受け入れた資産で、公益事業の用に供している財産	8,119,134
		公益充実資金		370,811,730
			【ピアノコンクール積立資産】 浜松国際ピアノコンクール事業に使用するための公益充実資金である。	135,000,000
			【大型公演事業積立資産】 大型公演事業に使用するための公益充実資金である。	156,000,000
			【文化芸術活動助成事業積立資産】 文化芸術活動の助成事業に使用するための公益充実資金である。	20,443,028
			【退職給付引当率増対策積立資産】 退職給付引当の率が増加する年度に使用するための公益充実資金である。	39,368,702
			【40周年記念事業積立資産】 40周年記念事業に使用するための公益充実資金である。	20,000,000

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
その他固定資産	仲道子供音楽事業資産	(定) 静岡銀行浜松中央支店	寄附により受け入れた資産で、仲道氏による子供音楽事業の用に供している財産	5,653,483
	オーケラ助成事業資産	(定) 静岡銀行浜松中央支店	寄附により受け入れた資産で、浜松市出身・在住の若手音楽家の事業開催の助成事業の用に供している財産	600,000
	運用財産積立資産	静岡県債(令和6年度第11回) (定) 静岡銀行浜松中央支店	運用益を管理運営費の財源としている。	400,000,000
				100,000,000
				300,000,000
			特定資産計	1,321,404,593
	建物附属設備	事務所受付部分パーテーション 浜松市中央区板屋町 111-1	共用財産であり、公益目的事業及び収益事業の用に供している。	1
	什器備品	事務所受付カウンター 浜松市中央区板屋町 111-1	共用財産であり、公益目的事業及び収益事業の用に供している。	1
	ソフトウェア	AI 音声合成ソフト 浜松市中央区板屋町 111-1	公益目的事業の用に供している。	739,200
	リース資産	施設予約システム・パソコン等機器 Wi-Fi ネットワーク機器 プロジェクター機器等(コングレス) NAS 等機器 プロジェクター機器等(中ホール等) 会計システム	共用財産であり、公益目的事業及び収益事業の用に供している。 管理運営の用に供している。 その他固定資産計	23,901,383
				5,534,320
				1,057,096
				1,144,000
				2,173,967
				7,920,000
				6,072,000
固定資産合計			3,485,813,945	
資産合計			4,239,940,925	
(流動負債)	未払金 前受金 預り金 リース債務	浜松市他	各事業に係る未払金	201,750,489
		(株)サンデーフォークプロモーション他	施設利用料金等の前受金	93,183,364
		(株)アイエス他	チケット受託販売売上金等の預り金	40,048,937
				12,227,993
	施設予約システム・パソコン等機器 Wi-Fi ネットワーク機器 プロジェクター機器等(コングレス) NAS 等機器 プロジェクター機器等(中ホール等) 会計システム	公益目的事業及び収益事業の業務に使用している機器の債務 管理運営の業務に使用している機器の債務	5,665,573	
			586,093	
			584,165	
			941,332	
			2,639,884	
			1,810,946	
賞与引当金 役員賞与引当金	職員に対するもの	職員の賞与の引当金	31,935,258	
	役員に対するもの	役員の賞与の引当金	541,200	
流動負債合計			379,687,241	
(固定負債)	リース債務	Wi-Fi ネットワーク機器	公益目的事業及び収益事業の業務に使用している機器の債務	12,042,338
		プロジェクター機器等(コングレス)		495,557
		NAS 等機器		596,864
		プロジェクター機器等(中ホール等)		1,282,092
		会計システム		5,332,452
		管理運営の業務に使用している機器の債務	4,335,373	
退職給付引当金	職員に対するもの	職員の退職給付金の引当金	353,075,941	
固定負債合計			365,118,279	
負債合計			744,805,520	
正味財産			3,495,135,405	